

令和5年度

事業報告



社会福祉法人 秋田県社会福祉協議会

目 次

1	全体総括	1
2	基本方針ごとの総括	2
3	事業内容	
	基本方針1 地域共生の仕組みづくり	
	―地域福祉トータルケアの推進―	8
	推進項目1 総合相談支援体制の構築	8
	推進項目2 地域づくり活動基盤の整備	3 3
	推進項目3 地域における公益活動の推進	4 3
	推進項目4 行政と社協のパートナーシップの強化	4 3
	推進項目5 災害支援体制づくりの推進	4 5
	基本方針2 福祉サービスの基盤づくり	
	―働きやすくやりがいを感じられる福祉の職場づくりの推進―	5 1
	推進項目1 福祉人材の確保・育成・定着の推進	5 1
	推進項目2 福祉サービスの質の向上と社会福祉経営基盤の強化	6 5
	基本方針3 組織・経営基盤の強化	7 6
	推進項目1 法人経営の基盤強化と財源の確保	7 6
	推進項目2 職員の資質向上と意識改革	8 1
	その他 災害時における被災地支援	8 2
	令和5年7月大雨災害に伴う被災地支援の状況	8 2
	令和6年能登半島地震に伴う被災地支援の状況	8 3

令和5年度 事業報告

1 全体総括

新型コロナウイルス感染症の「5類」移行によって様々な行動規制が緩和され、社会経済活動の回復が期待される一方で物価高騰が続いており、家庭生活等に大きく影響を及ぼしています。さらに、本県を含め全国各地で自然災害が頻発・激甚化しています。

こうした中、本会は第5期「秋田県地域福祉活動計画」に基づき、3つの基本方針に沿って事業・活動を展開し、求められる役割・機能の発揮に努めました。

基本方針の1点目である「地域共生の仕組みづくり」に向けては、少子高齢化の進行などを背景に進む地域の支え合い機能の低下や地域における生活課題の複雑・多様化といった状況を踏まえ、地域福祉の推進を担う人材の確保・育成、権利擁護体制の充実、地域づくり活動の基盤整備の支援、災害に備えた支援体制づくりなどに取り組みました。特に、子どもの居場所づくり等に取り組む支援団体等のネットワークの充実・強化に向けて、新たにコーディネーターを配置し、県内の各支援団体への訪問活動や情報交換会を通じて情報の共有を図りました。また、生活福祉資金の特例貸付では、償還猶予又は償還免除の適正処理に努めるとともに、資金利用者のフォローアップ支援に向けて、市町村社会福祉協議会及び本会の体制強化を図りました。さらに、高齢者の生きがい・健康づくりの推進に向けて、県版ねんりんピック等によるスポーツ・文化活動の振興に努めるとともに、地域包括ケアシステムの構築を推進するため、市町村や地域包括支援センター等の関係者を対象にした研修、専門職派遣による自立支援型地域ケア会議の運営支援等を行いました。

基本方針の2点目である「福祉サービスの基盤づくり」については、福祉・介護分野における人材確保が喫緊の課題であるとの認識のもと、当面の人材確保に向けた多様な人材の参入促進や職場定着の促進の取組と併せ、中長期的な視点に基づき福祉分野への若年層の関心を高めるための取組を進めました。特に、県内3地区(大館市・秋田市・横手市)に福祉人材キャリア支援専門員を各1名配置し、福祉施設・事業所への就労希望者に職業紹介を行うとともに、求人事業所に対して人材確保支援の強化を図りました。また、介護人材の新たな供給源として外国人労働者に焦点を当てた調査研究事業を県から受託し、専門委員会による検討等を行い、課題や解決手法に関する提言を行いました。さらに、福祉サービスの質を高めるため、福祉従事者研修の充実を図ったほか、運営適正化委員会による苦情解決、福祉サービス第三者評価の実施、介護サービスの情報公表制度の適切な運営に努めました。

基本方針の3点目である「組織・経営基盤の強化」の関連では、社会福祉法をはじめとする関連法令に即した法人運営を進めるとともに、会員の拡大、自主財源の確保に努めたほか、秋田県社会福祉会館の指定管理者として、適正な管理運営と会館の利用促進に努めました。

このほか、大規模災害への対応として、7月大雨では被災地社協における災害ボランティアセンターの運営を支援したほか、能登半島地震では各分野で職員派遣を行いました。

さらに、本会としての中長期計画として、第6期「秋田県地域福祉活動計画」を策定しました。次年度からは新計画に沿って、地域共生社会の基盤づくりや地域福祉の推進に関係機関・団体とともに取り組めます。

2. 基本方針ごとの総括

《基本方針1》 地域共生の仕組みづくり－地域福祉トータルケアの推進－

○ 地域共生社会の実現のための社会福祉法の改正により、市町村では包括的な支援体制を構築するため、相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施する「重層的支援体制整備事業」が実施されております。地域においては、住民一人ひとりが主体的にかつ相互に支え合う地域づくりが求められており、地域における福祉力の強化が必要となります。そこで、「地域で気になる人」と地域住民等の関係を「見える化」し地域の福祉課題を把握する手段となる「支え合いマップ」づくりの実践を進めるため、指導者となるインストラクターの養成に取り組む「地域の福祉力向上事業」を実施しました。また、ICT機器等の活用や多様な社会資源による見守り活動の実践を理解し、これからの新たな小地域ネットワーク活動のあり方を考えるため「トータルケア推進会議」を開催しました。

○ 地域福祉を推進する人材を育成するため、コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修を前期・後期2回に分けて延べ4日間実施し、修了者は令和5年度末までの累計で476名となりました。

地域の多様な生活課題や制度の狭間の問題に対し個別支援と地域支援を通じて課題解決を図る専門職が必要とされていることから、今後もコミュニティソーシャルワークの必要性を広く周知するとともに、実践者の養成を継続していきます。

○ 判断能力が十分でない認知症高齢者や知的障害者などが地域で自立した生活を送れるよう福祉サービスの利用や日常的な金銭管理を支援する日常生活自立支援事業の実利用件数は626件(前年度より68件増)と過去最高の実績となっており、増加し続ける利用ニーズに対応した市町村社協の組織体制強化が課題となっています。

「権利擁護支援の体制構築モデル事業」では、横手市、大館市、藤里町の各社協を指定し、弁護士、司法書士等による推進委員会や現地指導を通じて、地元行政とともに令和6年度からの法人後見の実施や権利擁護センター、中核機関の設置に向けた検討を行いました。

また、県から受託した「成年後見制度利用促進事業」では、法人後見受任体制の整備や意思決定支援の理解、相談支援に当たる実務者研修や、関係団体との連携を図ることを目的にした県域協議会、中核機関の設置状況等に合わせた地域協議会をそれぞれ開催しました。また、福祉施設・医療機関・福祉事務所職員向けに事例検討を中心に計3回勉強会を実施し、制度利用に係る知識習得を図りました。

○ 低所得世帯等の生活基盤を支える制度の一つである「生活福祉資金貸付事業」の貸付件数は、総合・福祉・教育の3資金合わせて131件となりました。

償還計画額に対する償還実績額の割合を示す償還率は、全体で10.44%と前年度と同程度となっ

ています。

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した世帯の資金需要に対応するため実施された特例貸付は、121 件の償還猶予及び 443 件（約 1 億 2,600 万円）の償還免除を決定しました。償還開始から 1 年が経過し、償還率は全体で 20.76%と昨年度と比較し約 16.30%増加しました。今後も市町村社会福祉協議会と連携して借受人の生活実態の把握等を含めたフォローアップ支援の取組を強化します。

- 新たにコーディネーターを 1 名配置し、子どもの居場所づくり等に取り組む支援団体等への訪問・ヒアリングとともに、支援種別ごとの情報交換会等を通じて取組の現状と課題を把握し、企業や団体等に連携・協力を働きかけるためにパンフレットを作成・配布しました。また、「あきた子ども応援ネットワーク」を充実・強化させるため、WEB サイトの充実や県民・企業からの寄附・ボランティア等に対する調整等を行ったほか、子どもの居場所づくりに向けた人材養成講座を 5 か所で開催し、助言者を派遣するなど、支援活動につながる取組を行いました。

「ひとり親家庭高等職業訓練促進資金」及び「児童養護施設退所者等に対する自立支援資金」は、新規利用実績が全体で 8 件と少ない状況にあります。自立した生活を目指す人にとっては重要な制度であることから、引き続き関係機関等を通じた制度周知を図り、社会的な支援が必要な人の利用に結び付くよう取り組みます。

- 高齢者総合相談・生活支援センターでは、高齢者やその家族等が抱える心配ごとや悩みごとの相談、権利擁護相談など 1,652 件に対応したほか、県民介護講座（189 名受講）や福祉用具等に関する研修（73 名受講）を実施し、県民の介護に関する知識と技術の習得を支援しました。

また、「新しい総合事業の取組支援事業」や「介護施設等看護実務者研修」、「訪問介護員の人材養成基本研修」を集合型とオンライン形式によりそれぞれ実施しました。

さらに、地域包括ケアシステムの構築に向けて、大仙市、三種町、八郎潟町へ専門職を派遣したほか、秋田市、能代市、男鹿市、湯沢市、三種町に自立支援介護予防普及アドバイザーを派遣し、自立支援型地域ケア会議の普及に向けた取組を促しました。

- 高齢者の生きがい・健康づくりの推進について、第 35 回全国健康福祉祭えひめ大会が開催され、本県から 103 名の選手団を派遣しました。また、県版ねんりんピックは 22 種目を開催し 1,717 名が参加したほか、「ねんりん美術展」を開催し、スポーツや文化活動への継続的な取組を通じた社会参加の促進を図りました。

また、高齢者の健康寿命の延伸を図ることと高齢者の交流の場を提供することを目的に、「ロングライフ講座」を県内 7 か所（秋田市、能代市、横手市、大館市、湯沢市、潟上市、北秋田市）で各 2 回開催し、延べ 318 名の参加がありました。

さらに、地域の課題解決や地域活性化に向けて高齢者が活躍できる機会を創出・拡大することを目的として、活動の中核となる人材の発掘・養成や活躍の場づくりに取り組む 12 団体に対して助成を行い、高齢者が中心となって住民同士のつながりを広げる地域づくり活動を促進しました。

- 福祉教育の推進を目的として「福祉教育推進セミナー」を開催し、担い手の育成を図りました。福祉教育推進検討委員会は、予定した回数を開けず、次年度に継続することとしました。
- 地域における災害支援体制の構築に向け、これまで養成してきた災害ボランティアコーディネーターのフォローアップを目的とした研修を行い、30名の参加者がありました。
さらに、災害ボランティアセンターの運営に協力する住民ボランティアの養成を目的とした「災害ボランティア活動実践研修会」を由利本荘市、北秋田市、上小阿仁村、三種町、八郎潟町の計5か所で開催したほか、行政と社協合同で実施する「災害ボランティア実地訓練」を湯沢市で開催し、37名の参加がありました。
- 令和5年7月の大雨災害により県内に甚大な被害が発生し、6市町村で災害ボランティアセンターが設置されました。特に秋田市と五城目町では県内外からの多くのボランティアを受け入れて被災者支援と復旧作業にあたりました。一方で、生活弱者への災害時の対応が大きな課題となり、災害福祉支援機能の構築を考える契機となりました。また、今回の災害を受け、平時から地域で何ができるのかを考える機会にしようという目的で、一般県民向けに「災害における備えと支援について地域でできることを考える」をテーマにフォーラムを開催し、64名の参加者がありました。

《基本方針2》 福祉サービスの基盤づくり

－働きやすくやりがいの感じられる福祉の職場づくりの推進－

- 福祉・介護を支える多様な人材を確保するため、厚生労働大臣の許可による無料職業紹介事業として運営する「福祉保健人材センター」において福祉・介護の業務に従事するための相談、求人・求職登録、求職者紹介及び資格取得方法に関する情報提供などを行うとともに、関係機関・団体の主催する人材確保関連イベントに積極的に参画し、福祉人材の確保とマッチングに努めました。窓口業務のほか、今年度から県内3地区（大館市・秋田市・横手市）に福祉人材キャリア支援専門員を配置し、福祉事業所への就労希望者の職業紹介と求人事業所に対する人材の確保支援の強化を図りました。
「ふくしのしごと総合フェア」は、福祉業界への就職を希望する学生や求職者と福祉事業所の担当者が直接面談できる貴重な機会として2回開催しました。
- 「介護人材確保対策事業」では、専門アドバイザー（社会保険労務士・中小企業診断士）や理学療法士を25事業所に派遣したほか、採用力の向上を目的としたセミナーや「エルダー・メンター制度」導入に向けたセミナーに加え新たに新人介護職員の定着を図る研修を開催するなど、福祉・介護事業所を対象とする各種支援事業を通じ、福祉・介護人材の確保支援と職場定着の促進に継続して取り組みました。
- 中長期的な視野に立った人材確保策として、「介護の職場体験事業」を引き続き行うとともに、

小冊子「介護の仕事ハンドブック」を作成し県内の高校1年生等へ配布したほか、中学校の生徒やその保護者、教職員を対象に福祉の仕事の魅力を分かりやすく伝えるセミナーを開催するなど、福祉・介護の仕事に対する若年層の理解促進及び参入促進を図りました。

また、就職や進学で福祉分野に関心のある高校生等が福祉の仕事の現状を学ぶ「高校生福祉の進路ガイダンス」を、県央・県南2か所で開催しました。

- 介護の仕事に興味を持つ人や就労意欲のある中高年世代、退職者、主婦層、学生などを対象に、「介護の入門的研修事業」を実施し、介護の入門的研修への参加と介護現場での職場体験を通じ、新規就労・再就労を支援しました。
- 県内の社会福祉法人等の多くで、介護人材確保の困難さが一層増していることから、県の委託を受けて、介護人材の新たな供給源として外国人労働者に的を当てた調査研究事業を実施しました。学識経験者等からなる専門委員会を設け、介護事業を営む県内法人へのアンケート調査により現状把握するとともに、県内外の外国人介護職員受入れ施設の先進地視察を行い、外国人介護職員採用等に関する課題や解決手法についての提言をまとめた報告書を取りまとめ、社会福祉法人等関係者に向けた事業報告会を実施し、成果の普及に努めました。
- 介護福祉士養成校やハローワーク、福祉・介護事業所等の協力のもと、介護福祉士修学資金等貸付事業（介護福祉士等修学資金、介護福祉士実務者研修受講資金、離職介護人材再就職準備金の貸付）と福祉系高校修学資金等貸付事業（福祉系高校修学資金、介護分野就職支援金、障害福祉分野就職支援金の貸付）を実施し、福祉・介護人材の確保や再就労支援等に努めました。このほか、県内外の保育士養成施設に在学する学生を対象に保育士修学資金貸付事業を実施し、保育士資格の新規取得の促進と県内の保育士の確保に努めました。
- 秋田県から受託している福祉保健研修事業では、経験年数に基づく階層別研修や職域研修など、全17コース（25回延べ開催日数45日）の研修を実施し、福祉保健従事者に求められる資質や専門性の向上、地域福祉推進・相談援助等の専門職として必要な知識・技術の習得を図りました。
受講総定員1,895名に対し、受講実人数は1,011名と定員を下回る結果になりましたが、研修受付システムを通じて繰り返し受講を呼びかけたほか、可能な限り受講者の受入れに努め、研修機会の提供・確保を図りました。
認知症介護研修及び自主企画研修事業（全20コース、27回）では、認知症高齢者介護事業所の役職員を対象とした基礎研修や専門性の高い実践研修を実施したほか、虐待・ハラスメント防止研修や説明力・説得力向上研修、OJTリーダー研修など、福祉保健事業の現場での課題対応力向上、業務を円滑に進めてゆくスキルアップや職場環境づくりの促進に資する研修等を実施しました。受講総定員1,560名に対し、受講実人数は1,397名でしたが、内7コースで定員を上回る受講者を受け入れるなど、福祉保健事業者や従事者の研修ニーズに応えられるよう、研修内容の充実に努めました。
介護職員等によるたんの吸引等研修事業では、特別養護老人ホーム等の施設及び居宅において、

安全にたんの吸引等を行うことができるよう研修を実施しました。受講定員 241 名に対し、受講人数は 132 名でした。また、たんの吸引等を行える登録特定行為事業者 8 施設、認定特定行為業務従事者 186 名の新認定について対応しました。

介護支援専門員養成事業では、介護支援専門員の確保及び養成のため、実務研修受講試験を実施するとともに実務研修を行いました。研修の受講者数は 80 名で、受講修了者数は 78 名でした。

実務研修の実施に当たっては、新型コロナウイルス等の感染症予防や受講者の利便性向上のため、研修の内容に応じてオンライン研修と集合型研修を併用して実施しました。

- 福祉サービス利用者、家族等から来所・電話・FAX・メール等で「秋田県運営適正化委員会」に寄せられた苦情件数は 19 件（前年度 19 件）であり、助言や他機関の紹介のほか、必要に応じて事情を調査し、その解決を図りました。また、各種相談や問合わせが 13 件（前年度 22 件）あり、どこに相談していいのかわからない人の悩みに寄り添うとともに、必要に応じ、関係機関に結びました。

苦情解決事業では、引き続き利用者や家族等が苦情申し出を行いやすい環境づくりに努めるとともに、日常生活自立支援事業の運営監視についても事業の適切な運営を確保するため、第三者機関として機能の発揮に努めていく必要があります。

- 介護サービス情報の公表事業では、事業所から報告された介護サービス情報を訪問調査等により確認し、1,954 件の事業所情報の公表を行い、利用者の事業所選択の参考とするとともに、介護サービスの質の向上を図りました。

- 社会福祉施設経営指導事業では、社会福祉法人や事業所の経営に関する一般相談・専門相談を通じ、63 件（前年度 46 件）の相談に対応しました。非常勤相談員による専門相談が 41 件、常勤相談員による一般相談が 22 件となっており、主な相談は、会計事務に関するものが 17 件、施設経営に関するものが 17 件、労使問題に関するものが 12 件などとなっています。

相談は社会福祉法人に偏っていることから、県と連携しながら社会福祉法人以外の福祉施設経営者に対して事業の周知を図る必要があります。

また、社会福祉法人の責務として位置づけられた「地域における公益的な取組」については、秋田県社会福祉法人経営者協議会との連携・協働による事業展開を進めるとともに、「地域における公益的な取組推進セミナー」を開催し、地域における公益的な取組の意義について学ぶ機会を提供しました。

《基本方針 3》 組織・経営基盤の強化

- 理事会を 4 回、評議員会を 3 回、監事会を 2 回、評議員選任・解任委員会を 2 回、正副会長会議を 5 回開催し、法人の適切な運営に努めました。
- 社会福祉法人が運営する事業所に限らず多くの事業所の加入促進に努め、一般会員 20 か所を新

たに会員として迎え入れることができました。会員に対しては、広報「社会福祉あきた」やメールマガジンによる情報提供のほか、本会の自主企画研修の受講料や第三者評価の受審料の割引を行い、会員サービスの充実に努めました。

- 自主財源の確保に向け、火災共済、自動車共済やがん保険の加入促進、自動車リースの促進、常備薬の斡旋などを行いました。自動車共済は前年度を上回る実績となりましたが、それ以外は、前年度を下回る実績になりました。厚生事業は、本会の自主財源の重要な柱になっていることから、引き続き会員の理解と協力により財源の確保に努めます。
- 秋田県社会福社会館の管理・運営については、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこと、秋田市内の有料会議室閉館などにより利用が伸び、利用料収入は当初予算に対し約 280 万円の増収となりました。その一方で、電気料金等の高騰に伴い、県から「原油価格高騰等の影響に伴う指定管理者支援事業費補助金」の交付を受けたものの、支出額が収入額を上回りました。今後も厳しい運営状況が続くことが予想され、利用料収入の増と経費削減に取り組んでいきます。
また、県の公共施設等総合管理計画に基づき、カーテンウォール改修工事(県発注)を行うなど、県と協議しながら必要な修繕を実施しました。
- 「職員業務目標評価、能力評価実施要領」に基づき業務目標評価及び能力評価を行い、職員のヒアリング等を通じて意識改革や業務改善が進むよう努めました。また、職種や経験年数等に合わせ、研修センター主催の研修に 15 名の職員を参加させたほか、県や県共同募金会への職員派遣、県からの職員 1 名の受入れを通じ、組織の活性化と職員の資質向上を図りました。

3 事業内容

《基本方針1 地域共生の仕組みづくりー地域福祉トータルケアの推進ー》

推進項目1 総合相談支援体制の構築

＜事業項目1 地域福祉推進体制の構築と取組み強化＞

1 トータルケア推進会議【共同募金助成事業】

期 日 令和6年2月9日(金)

会 場 ホテルメトロポリタン秋田(オンライン併用)

参加者 66名(会場19名、オンライン47名)

内 容 基調説明「地域共生社会の実現に向けた小地域活動のあり方」

公益財団法人テクノエイド協会 理事長 大橋謙策 氏

実践報告「IoT 電球、移動販売車、配食サービス、個別避難計画による見守り」

石川県金沢市野町地区社会福祉協議会 事務局長 北村裕美 氏

特定非営利活動法人南外さいかい市 事務局長 佐々木繁雄 氏

大館市地域包括支援センターひない 主任 福士拓哉 氏

岩手県奥州市社会福祉協議会 地域福祉課長 高橋研 氏

総括講義

講師 公益財団法人テクノエイド協会 理事長 大橋謙策 氏

2 トータルケアニュースの発行

No.73 「権利擁護支援の体制構築モデル事業」の取組

(大仙市社会福祉協議会、仙北市社会福祉協議会)

3 市町村社協の支援

(1) 個別支援の実施【共同募金助成事業】

実施延回数 181回

(2) 市町村社協状況調査の実施

市町村社協の事業活動等の現状を基礎データとして把握・整備し、支援につなげた。

(3) 市町村社会福祉協議会連絡協議会の支援

① 総会

第1回 臨時総会(書面審議)

日 時 令和5年7月

内 容 県社協の理事及び評議員の退任による、後任推薦の審議

第2回 日 時 令和5年10月24日(火)

会 場 オンライン

参加者 15名

第3回 臨時総会(書面審議)

日 時 令和 6 年 2 月
内 容 県社協の理事及び評議員の退任による、後任推薦の審議
役員の補充選任

②監事会

日 時 令和 5 年 5 月 31 日 (水)
会 場 秋田県社会福祉会館

③正副会長会議

日 時 令和 5 年 5 月 31 日 (水)
会 場 秋田県社会福祉会館

④企画委員会

日 時 令和 5 年 5 月 22 日 (月)
会 場 オンライン
参加者 7 名

⑤会長会議

※能登半島地震対応のため中止

⑥中堅職員研修会

日 時 令和 6 年 3 月 26 日 (火)
会 場 アキタパークホテル (秋田市)
参加者 9 名

(4)地域福祉担当情報交換会の実施 (オンライン情報交換会)

第 1 回 日 時 令和 5 年 5 月 23 日 (火)
内 容 各社協の重点的に取り組む事業や新たな取組について情報交換

第 2 回 日 時 令和 6 年 1 月 15 日 (月)
内 容 住民主体の生活支援サービス、子どもの居場所づくり等について情
報交換

4 地域福祉推進体制強化のための会議の開催

(1)市町村社会福祉協議会会長・事務局長合同会議

※大雨災害対応のため中止

(2)市町村社会福祉協議会事務局長等会議

期 日 令和 6 年 2 月 27 日 (火)
会 場 秋田県社会福祉会館
参加者 37 名 (市町村社協 29 名、県社協 8 名)
内 容 事業説明「令和 6 年度秋田県社会福祉協議会の重点等事業について」
秋田県社会福祉協議会 各部部长
行政説明「秋田県地域福祉支援計画について」
秋田県健康福祉部地域・家庭福祉課 副主幹 内藤麻衣子 氏
情報交換

<事業項目2 地域福祉推進を担う人材の育成>

1 コミュニティソーシャルワーク実践者の育成に向けた研修【共同募金助成事業】

(1) コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修（前期課程）

期 日 令和5年6月19日（月）～20日（火）

会 場 秋田市にぎわい交流館AU

参加者 24名

内 容 講義1「地域共生社会政策時代における地域包括ケアとコミュニティソーシャルワーク」

演習1「事例報告」

演習2-1「コミュニティソーシャルワークの視点による個別アセスメント」

演習2-2「コミュニティソーシャルワークの視点による問題解決方針の立案と援助システムづくり」

演習3「ヴァルネラビリティのある人の相談支援」

講義3「ヴァルネラビリティのある人の特性とアウトリーチの必要性」

講 師 公益財団法人テクノエイド協会理事長／日本地域福祉研究所理事長／
日本社会事業大学名誉教授 大橋謙策 氏

(2) コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修（後期課程）

期 日 令和5年9月12日（火）～13日（水）

会 場 秋田市民交流プラザ

参加者 21名

内 容 演習4「コミュニティソーシャルワークの展開と問題解決プログラム開発」

演習5「日常生活圏域における支援システムの構築とソーシャルサポートネットワークの形成」

講 師 公益財団法人テクノエイド協会理事長／日本地域福祉研究所理事長／
日本社会事業大学名誉教授 大橋謙策 氏

2 コミュニティソーシャルワーク実践者の交流促進

(1) 「28回地域福祉実践研究セミナーinさが」への参加

期 日 令和5年8月24日（木）～26日（土）

※7月の大雨災害対応のため欠席

(2) 「第5回地域共生社会推進全国サミットinとよた」への参加

期 日 令和5年10月12日（木）～13日（金）

会 場 愛知県豊田市コンサートホール

参加者 1名（地域福祉担当）

3 コミュニティソーシャルワーク実践研究会への支援

(1) 総会の開催

期 日 令和 5 年 10 月 10 日(火)

会 場 オンライン

参加者 16 名 (委任状 21 名)

(2) 監事会の開催

期 日 令和 5 年 9 月 28 日(木)

会 場 秋田県社会福祉会館

(3) 運営幹事会の開催

第 1 回 期 日 令和 5 年 6 月 22 日(木)

会 場 オンライン

第 2 回 期 日 令和 5 年 11 月 27 日(月)

会 場 オンライン

(4) 全体研修の開催

期 日 令和 6 年 2 月 22 日(木)

会 場 オンライン

参加者 17 名

内 容 講話「意思決定支援とアドボカシー」

講師 一般社団法人日本意思決定支援ネットワーク

代表理事 名川勝 氏

ワーク『「児童家庭支援センターこねくと」の役割と活動紹介・実践研修』

講師 児童家庭支援センターこねくと センター長 富樫美和子 氏

<事業項目 3 権利擁護体制の充実>

1 日常生活自立支援事業

(1) 契約締結審査会

期 日 毎月 1 回 (年 12 回)

会 場 秋田県社会福祉会館

内 容 契約締結申請ケースの審査

(2) 市町村福祉生活サポートセンターの機能強化及び専門員・生活支援員の資質向上

① 専門員連絡会議

期 日 毎月 1 回 (年 12 回)

会 場 秋田県社会福祉会館

内 容 連絡調整、申請ケースについて質疑応答

② 専門員研修会

期 日 令和 5 年 5 月 29 日 (月)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 18 名

内 容 説明「事業の流れ及び事務手続き等について」

秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部 職員

専門員実践報告「アセスメントの留意点について」

湯沢市社会福祉協議会 専門員 浅野暖 氏

専門員実践報告「利用者との信頼関係構築について」

三種町社会福祉協議会 専門員 佐藤武 氏

③専門員実践力強化研修会（全国社会福祉協議会主催）への参加経費助成

ア 基本研修(オンデマンド配信)

配信期間 令和 5 年 10 月上旬～令和 6 年 2 月末

参加者 3 名（新任の専門員、基本的な内容の復習を希望する専門員）

主な内容 講義「専門員に求められる基本姿勢、対人援助の基礎知識」他

イ 初任者研修（基本研修＋ライブ配信）

期 日 令和 5 年 11 月 28 日、12 月 19 日（いずれかの日程を選択）

参加者 5 名（専門員としての業務経験が満 3 年未満の職員）

内 容 事例検討

ウ 現任者研修（基本研修＋集合研修）

期 日 令和 6 年 2 月 8 日（木）～ 2 月 9 日（金）

会 場 全国社会福祉協議会 灘尾ホール（東京都）

参加者 3 名（専門員としての業務経験が満 2 年以上の職員）

内 容 実践報告、事例検討

④生活支援員研修会

県北地区 期 日 令和 5 年 9 月 1 日（金）

会 場 秋田県生涯学習センター（秋田市）

参加者 生活支援員 20 名、社協職員 6 名

内 容 説明「事業の流れ及び事務手続き等について」

秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部 職員
講義「成年後見制度について」

グループワーク「成年後見制度への移行が必要と思われる事例
について」

講師 秋田市社会福祉協議会

権利擁護センター 永田泉 氏

県北地区 期 日 令和 5 年 9 月 6 日（火）

会 場 北秋田市民ふれあいプラザコムコム（北秋田市）

参加者 生活支援員 19 名、社協職員 15 名

内 容 説明「事業の流れ及び事務手続き等について」

秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部 職員
講義「成年後見制度について」

グループワーク「成年後見制度への移行が必要と思われる事例
について」

講師 能代市社会福祉協議会

権利擁護センター 斉藤洋子 氏

県南地区 期 日 令和 5 年 9 月 7 日 (木)

会 場 秋田県立近代美術館 (横手市)

参加者 生活支援員 28 名、社協職員 13 名

内 容 説明「事業の流れ及び事務手続き等について」

秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部 職員
講義「成年後見制度について」

グループワーク「成年後見制度への移行が必要と思われる事例
について」

講師 三種町社会福祉協議会

権利擁護センター 小野真美 氏、工藤綾乃 氏

(3) 日常的金銭管理サービス実施状況調査及び事務取扱状況調査

調査回数 31 回

市 町 村	第 1 回調査日	第 2 回調査日
秋 田 市	令和 5 年 8 月 7 日 (月)	令和 5 年 12 月 7 日 (木)
能 代 市	令和 5 年 8 月 9 日 (水)	令和 5 年 12 月 6 日 (水)
横 手 市	令和 5 年 8 月 18 日 (金)	令和 5 年 11 月 9 日 (木)
大 館 市	令和 5 年 10 月 3 日 (火)	令和 6 年 3 月 19 日 (火)
男 鹿 市	令和 5 年 6 月 30 日 (金)	—
湯 沢 市	令和 5 年 8 月 2 日 (水)	令和 5 年 11 月 30 日 (木)
鹿 角 市	令和 5 年 10 月 4 日 (水)	令和 6 年 3 月 18 日 (月)
由利本荘市	令和 5 年 7 月 7 日 (金)	—
潟 上 市	令和 5 年 6 月 30 日 (金)	—
大 仙 市	令和 5 年 7 月 12 日 (水)	令和 5 年 11 月 24 日 (金)
北 秋 田 市	令和 5 年 8 月 30 日 (水)	令和 6 年 3 月 11 日 (月)
にかほ市	令和 5 年 6 月 9 日 (金)	—
仙 北 市	令和 5 年 7 月 5 日 (水)	令和 5 年 11 月 24 日 (金)
小 坂 町	令和 5 年 12 月 1 日 (金)	—
上小阿仁村	—	—
藤 里 町	令和 5 年 6 月 28 日 (水)	—
三 種 町	令和 5 年 7 月 14 日 (金)	令和 5 年 12 月 18 日 (月)
八 峰 町	令和 5 年 6 月 28 日 (水)	—
五 城 目 町	令和 5 年 6 月 22 日 (木)	—
八 郎 潟 町	令和 5 年 6 月 22 日 (木)	—
井 川 町	令和 5 年 6 月 22 日 (木)	—
大 潟 村	—	—
美 郷 町	令和 5 年 7 月 5 日 (水)	—
羽 後 町	—	—
東 成 瀬 村	—	—

(4) 相談等の実施状況

① 相談受付状況 (県内市町村福祉生活サポートセンター実績)

相談件数 15,742 件

内 訳	認知症高齢者関係相談	8,782 件
	知的障害者関係相談	2,778 件
	精神障害者関係相談	4,061 件
	その他相談	121 件

②契約締結の状況

契約件数 188 件

内 訳	認知症高齢者	127 件
	知的障害者	18 件
	精神障害者	41 件
	その他	2 件

③解約の状況

解約件数 120 件

内 訳	認知症高齢者	83 件
	知的障害者	14 件
	精神障害者	20 件
	その他	3 件

④実利用件数

契約件数 626 件

内 訳	認知症高齢者	410 件
	知的障害者	79 件
	精神障害者	132 件
	その他	5 件

2 権利擁護支援の体制構築モデル事業【共同募金助成事業】

(1) 推進委員会

第1回	期 日	令和 5 年 7 月 13 日 (木)
	会 場	秋田県社会福祉会館
	内 容	モデル社協における達成目標と事業計画 アドバイザーによる現地指導
第2回	期 日	令和 5 年 11 月 22 日 (水)
	会 場	秋田県社会福祉会館
	内 容	モデル社協における進捗状況の確認
第3回	期 日	令和 5 年 3 月 22 日 (金)
	会 場	秋田県社会福祉会館
	内 容	モデル社協における取組 (事業実施状況の報告、成果、課題及び今後の目標) 次年度の県及び県社協における取組予定

(2) アドバイザーによる現地指導等

横手市社会福祉協議会

第1回 期 日 令和5年10月26日(木)
会 場 横手市社会福祉協議会 十文字福祉センター
内 容 事例検討・意見交換「成年後見制度研修会」

大館市社会福祉協議会

第1回 期 日 令和6年2月22日(木)
会 場 大館市立上川沿公民館
内 容 事例検討・意見交換「成年後見制度について」

藤里町社会福祉協議会

第1回 期 日 令和5年9月4日(月)
会 場 藤里町社会福祉協議会 福祉の拠点「こみっと」
内 容 研修「法人後見の実施に向けた活動事例」
第2回 期 日 令和6年1月24日(水)
会 場 藤里町社会福祉協議会 福祉の拠点「こみっと」
内 容 研修「法人後見の実施に向けた活動事例と中核機関の役割」

3 成年後見制度利用促進事業

(1)成年後見制度利用促進実務研修会

期 日 令和5年9月29日(金)
会 場 秋田県生涯学習センター
参加者 43名(市町村職員2、市町村社協職員14、地域包括支援センター職員19、相談支援事業所職員8)
内 容 講義Ⅰ「申立てに伴う必要書類と書き方」
講師 秋田市社会福祉協議会 権利擁護センター長 永田泉氏
秋田家庭裁判所 主任書記官 星義博氏
秋田家庭裁判所 訟廷記録係長 高橋美香氏
講義Ⅱ「市町村長申立ての流れとポイント」
講師 湯沢市地域包括支援センター 主幹 佐藤由紀子氏
講義・グループワーク「後見開始後の実務上の課題」
講師 公益財団法人成年後見センター・リーガルサポート秋田支部
柴田緑氏

(2)市町村等の体制整備に関する巡回支援

(アドバイザー派遣による巡回支援)

①仙北市社協

第1回 期 日 令和5年7月1日(金)
派遣者 司法書士 田口陽三氏
第2回 期 日 令和5年11月10日(木)
派遣者 弁護士 三浦広久氏

(3) 関係団体等との連携支援会議

① 県域会議

- 第1回 期 日 令和5年5月30日(火)
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 令和4年度事業の実施及び市町村の体制整備状況、令和5年度事業について
- 第2回 期 日 令和5年7月28日(金)
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 秋田県版担い手育成方針策定、市民後見人養成研修カリキュラム(秋田県版)の策定、地域協議会の進め方について
- 第3回 期 日 令和5年11月28日(火)
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 後見人の担い手確保・育成のための方針(案)、市民後見人養成のための基本カリキュラム(案)について
- 第4回 期 日 令和6年1月23日(火)
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 市民後見人養成の実施方針(案)について
- 第5回 期 日 令和6年3月21日(木)
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 市民後見人養成研修の実施方針(案)、令和5年度事業の実施状況、令和6年度事業について

② 地域会議

中核機関設置済

- 期 日 令和5年11月14日(火)
会 場 秋田市民交流プラザ
内 容 中核機関の取組と課題等、市町単独では対応が困難な取組等について

中核機関未設置

- 期 日 令和5年11月29日(水)
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 中核機関設置に向けた取組と課題等、市町村単独では対応が困難な取組等について

法人後見実施社協

- 期 日 令和6年1月18日(木)
会 場 秋田市民交流プラザ
内 容 法人後見実施に係る取組の現状と課題について

男鹿南秋地域

- 期 日 令和6年3月8日(金)
会 場 オンライン

内 容 「あきた成年後見センターつなぐ」の概要等、男鹿南秋地域における連携等
について

(4) 意思決定支援研修会

期 日 令和 6 年 2 月 6 日(火)
会 場 秋田県社会福祉会館
参加者 44 名 (行政 1、包括 12、相談事業所等 12、社協 19)
内 容 講義・グループワーク「権利擁護としての意思決定支援の必要性」
講 師 秋田弁護士会 高齢者・障害者問題対策委員長 藤原美佐子 氏
権利擁護センターばあとなあ秋田 小林悠希 氏

(5) 法人後見受任体制整備研修会

期 日 令和 5 年 9 月 5 日(火)
会 場 秋田県 J A ビル
参加者 25 名 (社協 12、施設法人 13)
内 容 講義「法人後見の必要性と取り組む意義」
新潟大学法学部 教授 上山泰 氏
実践発表「社会福祉法人による法人後見の取組」
青森県社会福祉法人楽晴会 ソーシャルワーカー 中川れい子 氏
岩手県一戸町社会福祉協議会 主任 小野寺幸葉 氏
グループワーク「法人後見実施に向けて必要なことはなにか」
説明「法人後見受任体制の整備に当たり必要な書類等について」
秋田家庭裁判所 訟廷管理官 石黒麻衣子 氏
秋田家庭裁判所 訟廷庶務係長 三浦恵 氏
質疑応答・情報交換
まとめ・総括講義
新潟大学法学部 教授 上山泰 氏

(6) 福祉制度及び医療利用者の成年後見制度利用促進支援の実施

第 1 回 期 日 令和 5 年 10 月 5 日(木)
会 場 オンライン
参加者 107 人 (医療機関 31、福祉施設 24、福祉事務所 8、市町村 12、市町
村社協 23、その他 9)
内 容 講義「身寄りがない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人へ
の支援に関するガイドラインと成年後見人に期待される具体的
な役割」
講師 秋田弁護士会高齢者・障害者問題対策委員長
藤原美佐子 氏
第 2 回 期 日 ①令和 5 年 11 月 13 日(月)
②令和 5 年 11 月 20 日(月)

- 会 場 オンライン
- 参加者 ①69人（医療機関 9、福祉施設 19、福祉事務所 5、市町村 11、市町村社協 21、その他 4）
②41人（医療機関 15、福祉施設 6、福祉事務所 3、市町村 1、市町村社協 14、その他 2）
- 内 容 成年後見制度の利用が必要と思われる3事例の検討
- 第3回 期 日 県北 令和5年12月14日(木)
県央 令和5年12月20日(水)
県南 令和5年12月25日(月)
- 会 場 オンライン
- 参加者 県北 27人（福祉施設 2、福祉事務所 4、市町村 4、市町村社協 15、その他 2）
県央 32人（医療機関 5、福祉施設 16、福祉事務所 2、市町村 3、市町村社会福祉協議会 5、その他 1）
県南 16人（医療機関 2、福祉事務所 1、市町村 5、市町村社協 8）
- 内 容 成年後見制度の利用が必要と思われる3事例の検討

<事業項目4 生活困窮者支援の強化>

1 生活困窮者自立支援制度に係る社協連絡会

※新型コロナウイルス特例貸付対応等のため中止

2 あきた子ども応援ネットワーク事業【共同募金助成事業】

(1) 支援団体連絡会議

- 第1回 期 日 令和5年5月11日(木)
会 場 オンライン
参加者 33団体（34名：市町村社協 15名、県・市町村行政 11名）
内 容 令和4年度の実施状況、令和5年度の実施計画、企業からの寄附について
- 第2回 期 日 令和5年12月26日(火)
会 場 オンライン
参加者 24団体（29名）、市町村社協 4名、県・市町村行政 4名
内 容 訪問・アンケートから見た実施状況と課題、令和6年度の実施計画、令和5年度人材養成講座について

(2) 支援者情報交換会

- 期 日 令和5年11月9日(木)
参加者 食料支援実施 11団体 15名
- 期 日 令和5年11月10日(金)
参加者 子ども食堂実施 17団体 18名

期 日 令和 5 年 11 月 24 日(金)

参加者 学習支援団体 5 団体 6 名

期 日 令和 5 年 11 月 30 日(木)

参加者 制服等リユース団体 9 団体 13 名

内 容 コーディネーター訪問・アンケート調査結果からみえた現状と課題について

(3) 勉強会（子どもの居場所づくりに向けた人材養成講座）の開催

期 日 令和 6 年 1 月 30 日(火)

会 場 安楽温泉 2 階ホール

参加者 24 名

内 容 実践紹介「子ども食堂やフードバンク立ち上げの経緯、取組状況等について」
じょうみょうじ子ども食堂 代表 藤井真貴子 氏

期 日 令和 6 年 2 月 2 日(火)

会 場 雄物川保健センター

参加者 28 名

内 容 実践紹介「子ども食堂やフードバンク立ち上げの経緯、取組状況等について」
じょうみょうじ子ども食堂 代表 藤井真貴子 氏
江釣子ひまわり食堂 代表 清水上裕 氏

期 日 令和 6 年 2 月 27 日(火)

会 場 湯沢市生涯学習センター

参加者 29 名

内 容 実践紹介「食料支援、子ども食堂立ち上げの経緯、取組状況等について」
じょうみょうじ子ども食堂 代表 藤井真貴子 氏
居場所づくりサポート「心結び」 代表 高橋美由紀 氏

期 日 令和 6 年 2 月 29 日(木)

会 場 大館市立上川沿公民館

参加者 29 名

内 容 実践紹介「子ども食堂立ち上げの経緯、取組状況等について」
あさひこども食堂 代表 坂上喜也 氏
子ども親支援スマイル・ミント 代表 袴田清枝 氏

期 日 令和 6 年 3 月 14 日(木)

会 場 仙北市角館交流センター

参加者 21 名

内 容 実践紹介「食料支援、子ども食堂立ち上げの経緯、取組状況等について」
じょうみょうじ子ども食堂 代表 藤井真貴子 氏
居場所づくりサポート「心結び」 代表 高橋美由紀 氏

(3) 助言者の派遣

期 日 令和 5 年 5 月 11 日(木)

会 場 オンライン

依頼者 特定非営利活動法人 ハートランドひまわり
内 容 「フードバンク事業における生活困窮者への支援方法等について」
助言者 特定非営利活動法人秋田たすけあいネットあゆむ
理事長 保坂ひろみ 氏

期 日 令和 6 年 1 月 25 日(木)
会 場 特定非営利活動法人秋田たすけあいネットあゆむ事務所
依頼者 一般社団法人わらび座
内 容 「フードドライブ事業に必要なもの、フードボックスの設置等について」
助言者 特定非営利活動法人秋田たすけあいネットあゆむ
理事長 保坂ひろみ 氏

期 日 令和 6 年 3 月 1 日(金)
会 場 八峰町社会福祉協議会
依頼者 八峰町社会福祉協議会
内 容 「制服等リユース事業を進め方、気をつけること等について」
助言者 特定非営利活動法人秋田たすけあいネットあゆむ
理事長 保坂ひろみ 氏

3 子どもの居場所づくり等支援事業

コーディネーター1名を配置し、子どもの居場所づくり等に取り組む団体等への支援及びあきた子ども応援ネットワークの充実・強化を図った。

(1) 支援団体への訪問・ヒアリング

取組の現状と課題を把握するため各支援団体を訪問してヒアリングを行った。

訪問数 50 団体

(2) アンケート調査の実施

取組状況と課題等の詳細を把握するためアンケート調査を行った。

対 象 子ども食堂実施団体 回答 21 団体 (回答率 87.5%)

食料支援実施団体 回答 12 団体 (回答率 75%)

制服等リユース実施団体 回答 10 団体 (回答率 71.4%)

学習支援実施団体 回答 6 団体 (回答率 75%)

(3) あきた子ども応援ネットワークの充実・強化

WEB サイトの充実及び県民・企業等からの寄附等に対する調整等を行った。

①Web サイト掲載の促進 新規掲載 10 団体 (計 49 団体)

②寄附等の調整 44 件

③ボランティアの調整 27 件

④問い合わせ等対応 66 件

(4) 県補助金の申請に伴う相談支援

子ども食堂等を立ち上げようとする個人・団体に対して県補助金の活用を支援した。

申請団体 1 件

(5)パンフレットの作成・配布

活動の継続に向けた支援と協力を促進するためのパンフレットを作成・配布した。

部 数 5,000 部

配布先 各支援団体のほか商工会議所、市町村行政、社会福祉協議会等

4 ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

(1)入学準備金

新規貸付決定件数 1 件

令和 5 年度貸付額 500,000 円

(2)就職準備金

新規貸付決定件数 1 件

令和 5 年度貸付額 200,000 円

5 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業

(1)生活支援費

①過年度決定件数（継続） 4 件

令和 5 年度貸付額 2,400,000 円

②新規貸付決定件数 2 件

令和 5 年度貸付額 1,200,000 円

(2)家賃支援費

①過年度決定件数（継続） 4 件

令和 5 年度貸付額 1,841,160 円

②新規貸付決定件数 3 件

令和 5 年度貸付額 1,208,000 円

(3)資格取得支援費

新規貸付決定件数 1 件

令和 5 年度貸付額 250,000 円

<事業項目 5 生活福祉資金貸付事業の推進>

1 生活福祉資金貸付の推進

(1)生活福祉資金運営委員会

原則として毎月 1 回開催し、新規申込、支払猶予、延滞利子免除等の審査を行った。

(1 1 回開催)

(2)生活福祉資金の貸付状況等（本則分）

◆申請及び貸付決定状況

<総合支援資金、福祉資金、教育支援資金>

区 分		件数(件)	金額(円)
総合支援資金	申 請	12(11)	4,269,000
	決 定	10(10)	3,186,000

福祉資金(福祉費)	申請	27(7)	17,333,022
	決定	21(6)	11,686,492
福祉資金(緊急小口資金)	申請	76(35)	6,210,700
	決定	59(31)	4,700,860
生活復興支援資金	申請	0	0
	決定	0	0
教育支援資金	申請	44(0)	41,910,747
	決定	41(0)	37,170,800
合 計	申請	159(53)	69,723,469
	決定	131(47)	56,744,152

※ () は自立相談支援事業を利用した件数

◆支払猶予の状況

資金種類	申請件数(件)	決定件数(件)
総合支援資金、福祉資金、教育支援資金	4	4
不動産担保型生活資金	2	2
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	5	5
合 計	11	11

◆延滞利子免除の状況

区 分		件数(件)	金額(円)
総合支援資金、福祉資金、教育支援資金	申請	2	1,108,054
	決定	2	1,108,054
不動産担保型生活資金	申請	0	0
	決定	0	0
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	申請	0	0
	決定	0	0
合 計	申請	2	1,108,054
	決定	2	1,108,054

◆償還免除の状況

区 分		件数(件)	金額(円)
総合支援資金、福祉資金、教育支援資金	申請	43	47,596,753
	決定	43	47,596,753
不動産担保型生活資金	申請	0	0
	決定	0	0
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	申請	0	0
	決定	0	0
臨時特例つなぎ資金	申請	1	3,000
	決定	1	3,000
合 計	申請	44	47,599,753
	決定	44	47,599,753

(3)生活福祉資金の貸付状況等 (新型コロナ特例分)

◆償還猶予の状況

資金種類	申請件数(件)	決定件数(件)
緊急小口資金	82	82
総合支援資金 (初回)	36	36
総合支援資金 (延長)	3	3
合 計	121	121

◆償還免除の状況

区 分		件数(件)	金額(円)
緊急小口資金	申 請	272	44,010,000
	決 定	272	39,941,515
総合支援資金(初回)	申 請	130	66,495,000
	決 定	130	65,368,750
総合支援資金(延長)	申 請	35	17,490,000
	決 定	35	17,490,000
総合支援資金(再貸付)	申 請	6	3,000,000
	決 定	6	3,000,000
合 計	申 請	443	130,995,000
	決 定	443	125,800,265

※申請欄の金額は「貸付決定金額」、決定欄の金額は「免除決定金額」

(4) 現地償還指導

① 現地個別償還指導

滞納世帯の生活状況把握と自立に向けた支援を目的に、市町村社会福祉協議会の協力のもと、借受世帯等の自宅を訪問し、現地指導を行った。

対象：20 市町及び県社協扱いケース（775 件）

② 初期滞納世帯への指導

償還期間が始まって間もない時期に滞納が続く世帯に対し、文書による注意喚起を（118 件）行うとともに、状況把握に努めた。

(5) 債権管理の強化推進

① 顧問弁護士の指導・協力による長期滞納世帯の実態把握

償還残額通知の発行(年2回)

本則分：4,546 件、特例分：2,894 件 計：7,440 件

滞納に対する督促状の発行(年2回)

本則分：4,524 件、特例分：1,221 件 計：5,745 件

行方不明者の住所追跡（住民票の取得）

本則分：207 件、特例分：85 件 計：292 件

内容証明郵便による通知の送付

21 件

② 要保護世帯向け不動産担保型生活資金の不動産売却に向けた対応

任意売却による償還完了

1 件

◆償還状況（本則分）

<総合支援資金、福祉資金、教育支援資金>

区 分			償還計画(円) (償還免除を含む)	償還実績(円) (償還免除を除く)	償還率(%)
健全債権	償還 期限内	当年度	59,613,981	48,577,763	81.49
		過年度	17,995,231	7,090,126	39.40
	償還期限後		65,775,141	8,610,817	13.09
	小 計		143,384,353	64,278,706	44.83
長期滞留 債権	償還 期限内	当年度	14,799,823	2,166,036	14.64
		過年度	83,120,101	5,137,711	6.18

	償還期限後	704,802,047	27,234,262	3.86
	小計	802,721,971	34,538,009	4.30
合計		946,106,324	98,816,715	10.44

◆償還状況（特例分）

<緊急小口資金、総合支援資金>

区分		償還計画(円) (償還免除を含む)	償還実績(円) (償還免除を除く)	償還率(%)	
健全債権	償還 期限内	当年度	228,284,355	47,921,120	20.99
		過年度	15,431,480	3,559,581	23.07
	償還期限後		3,458,960	52,650	1.52
	小計		247,174,795	51,533,351	20.85
長期滞留 債権	償還 期限内	当年度	0	0	—
		過年度	0	0	—
	償還期限後		1,054,180	5,000	0.47
	小計		1,054,180	5,000	0.47
合計		248,228,975	51,538,351	20.76	

(6)生活福祉資金担当民生委員並びに市町村社協担当職員合同研修会

①市町村社会福祉協議会生活福祉資金担当職員研修

期 日 令和6年1月12日(金)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 35名

内 容 説明1「貸付申請から償還までの流れについて(本則)」

説明2「償還猶予・償還免除要件等について(特例)」

秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部 職員

情報共有「各市町村におけるフォローアップ支援の取組状況について」

②生活福祉資金担当民生委員並びに市町村社協担当職員合同研修会

期 日 令和6年2月28日(水)

会 場 ホテルメトロポリタン秋田

参加者 150名

内 容 基調説明

「生活福祉資金貸付制度と生活福祉資金担当民生委員の役割について」

秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部 職員

事例紹介「生活福祉資金貸付事業を通じた相談支援の実践」

発表者 秋田市社会福祉協議会 総務管理課 三浦優利佳氏

横手市社会福祉協議会 地域福祉課 大坂智子氏

三種町社会福祉協議会 地域福祉課 斉藤康子氏

鹿角市社会福祉協議会 地域福祉課 青山梨菜氏

(7)生活福祉資金事務指導

※新型コロナウイルス特例貸付対応等のため中止

2 要保護世帯向け不動産担保型生活資金の運営

◆申請及び貸付決定状況 申請なし

◆償還状況

区 分		貸付額	償還額 ※元金のみ	免除額 ※元金のみ
不動産担保型 生活資金	件数(件)	1	1	0
	金額(円)	17,995,500	17,995,500	0
要保護世帯向け不動産 担保型生活資金	件数(件)	1	1	0
	金額(円)	3,948,000	3,948,000	0
合 計	件数(件)	2	2	0
	金額(円)	21,943,500	21,943,500	0

3 臨時特例つなぎ資金の運営

◆申請及び貸付決定状況 申請なし

◆償還状況

区 分			償還計画(円) (償還免除を含む)	償還実績(円) (償還免除を除く)	償還率(%)
健全 債権	償還 期限内	当年度	0	0	—
		過年度	0	0	—
	償還期限後		0	0	0.00
	小 計		0	0	0.00
長期滞留 債権	償還 期限内	当年度	0	0	—
		過年度	0	0	—
	償還期限後		779,900	0	0.00
	小 計		779,900	0	0.00
合 計			779,900	0	0.00

4 その他

(1)生活福祉資金貸付制度に関する研修・学習会への協力

令和6年3月26日(火) 湯沢市しあわせ総合相談所相談員研修会

<事業項目6 高齢者相談事業の推進>

1 高齢者総合相談・生活支援センター運営事業の推進

(1) 一般相談及び専門相談

相談件数

相談種別 \ 相談経路	一 般	専 門	合 計
家族・家庭関係	643 件	14 件	657 件
法律関係	237 件	111 件	348 件
経済・生活関係	245 件	2 件	247 件
福祉サービス関係	225 件	0 件	225 件
生きがづくり関係	51 件	0 件	51 件

保健・医療関係	120件	4件	124件
合計	1,521件	131件	1,652

(2)福祉用具に関する相談支援、福祉用具等の展示 通年

(3)県民介護講座（自立支援・介護予防に関する講座）の開催

①期 日 令和5年6月28日（水）

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 31名

内 容 講義「健康づくりは口から① ～ただしい歯磨きで、肺炎予防～」

講師 秋田県歯科衛生士会 川村孝子 氏

②期 日 令和5年7月24日（月）

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 25名

内 容 講義「健康づくりは口から② ～むせ込み予防で肺炎予防～」

講師 社会福祉法人あけぼの会

介護老人保健施設なごみのさと 田口祥子 氏

③期 日 令和5年8月28日（月）

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 33名

内 容 講義「足腰丈夫でイキイキ長生き① ～長生きのコツ～」

講師 大曲中通病院 宮田信悦 氏

④期 日 令和5年9月25日（月）

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 37名

内 容 講義「足腰丈夫でイキイキ長生き② ～長生きのコツ～」(実技)

講師 大曲中通病院 宮田信悦 氏

⑤期 日 令和5年10月23日（月）

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 27名

内 容 講義「足のバランスを整えて転倒予防！① ～知っているようで実は知らない足の爪のケア方法について～」

講師 あきた訪問フットケア・爪切屋AGUBE 小松純子 氏

⑥期 日 令和5年11月22日（水）

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 36名

内 容 講義「足のバランスを整えて転倒予防！② ～履き物から姿勢・歩き方改善～」

講師 あきた訪問フットケア・爪切屋AGUBE 小松純子 氏

(4)福祉用具選択コース（自立支援・介護予防に関する講座）の開催

①期 日 令和5年4月21日（金）、5月12日（金）、5月26日（金）、6月9日（金）、

6月23日(金)、7月7日(金)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 秋田大学学生 計66名

内 容 講義・実習「自立を支える福祉用具について」

講師 秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部 職員

②期 日 令和5年7月19日(水)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 訪問看護師 4名

内 容 講義・実習「在宅生活を支える福祉用具について」

講師 秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部 職員

③期 日 令和6年3月13日(水)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 行政 3名

内 容 講義・実習「福祉用具点検及び住宅改修点検研修にむけて」

講師 秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部 職員

2 新しい総合事業の取組支援事業

(1) 包括的支援事業推進事業の実施

① 弁護士、司法書士及び社会福祉士による高齢者権利擁護定期相談の実施

(毎月第3木曜日：年12回)

相談経路 相談種別	地域包括支援 センター等	一般	合計
人権・虐待	0件	2件	2件
成年後見	0件	8件	8件
財産管理	0件	1件	1件
金銭貸借	0件	0件	0件
消費者被害	0件	0件	0件
その他	0件	0件	0件
合計	0件	11件	11件

② 高齢者虐待防止セミナーの開催

期 日 令和6年1月19日(金)、1月20日(土)

会 場 オンライン

参加者 1日目 69名、2日目 68名

内 容 講義1「虐待防止法の内容と法に定められている市町村の責務を理解する」

講師 千秋パーク法律事務所 弁護士 藤原美佐子 氏

講義2「虐待対応における権利擁護の視点と基本的な流れを理解し、虐待
対応ソーシャルワークモデルの視点とポイントを理解する」

講師 社会福祉法人いずみ会 ウェルビューいずみ

障害福祉サービスセンター 佐々木宏幸 氏

講義 3 「通報受理、事実確認や緊急性の判断等初動期の対応のポイントを理解する」

講師 社会福祉法人いずみ会

泉地域包括支援センターリンデンバウム 泉真紀子 氏

講義 4 「虐待の背景・要因をアセスメントし、支援計画を策定するポイントを理解する」

講師 社会福祉法人秋田市社会福祉協議会

川元地域包括支援センター社協 保坂絵美子 氏

講義 5 「対応計画の評価と虐待対応機関としての支援の終結について理解する」

講師 特定医療法人荘和会

障害者自立支援センター「和」 浅利和磨 氏

講義 6 「虐待対応の一連の流れを、具体的事例の演習を通じて理解する」

講師 社会福祉法人秋田市社会福祉協議会

川元地域包括支援センター社協 保坂絵美子 氏

(2)生活支援コーディネーター活動促進事業

①生活支援コーディネーター活動支援研修（基礎編）

期 日 令和 5 年 7 月 28 日(金)

会 場 秋田県 J Aビル

参加者 22 名

内 容 講義・演習「地域包括ケアと生活支援体制整備事業」他

講師 東海大学建築都市学部 特任准教授

東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員 後藤純 氏

②生活支援コーディネーター活動支援研修（応用編）

期 日 令和 5 年 10 月 4 日(水)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 25 名

内 容 講義・演習「地域包括ケアシステムは互助の強化」

講師 東海大学建築都市学部 特任准教授

東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員 後藤純 氏

③生活支援コーディネーター活動支援研修（現地支援編）

第 1 回

期 日 令和 6 年 1 月 26 日（金）※オンライン併用

会 場 花火伝統文化継承資料館 はなび・アム

参加者 42 名（うちオンライン 33 名）

内 容 講義『「生活支援体制整備事業」と『秋田県における生活支援コーディネーターの役割』

講師 一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会

医療経済研究機構 主席研究員 服部真治 氏
実践事例「生活支援コーディネーターの役割と実践活動」
発表者 雄和地域包括支援センター緑水苑 雄和ささえあい協議会
生活支援コーディネーター 牧野正則 氏
社会福祉法人大館市社会福祉事業団
ケアプランセンターおおたき
生活支援コーディネーター 市村めぐみ 氏

情報交換会

ファシリテーター

株式会社グットラックプロデュースけあまね処 グットと楽
市民活動団体おもしえど・かだればあ代表
NPO法人まちづくり学校 事業推進部 鈴木のぞみ 氏

第2回

期 日 令和 6 年 2 月 16 日(金)

会 場 大仙市大曲交流センター

参加者 17 名

内 容 講話・演習「人口減少する集落の、新たなにぎわいづくり」

講師 一般社団法人らいとサポート代表理事

一般社団法人おくいずもん代表理事 落合孝行 氏

④生活支援コーディネーターのためのファシリテーション・グラフィック講座

期 日 第1回 令和 5 年 12 月 7 日 (木)・8 日 (金)

第2回 令和 5 年 12 月 13 日 (水)・15 日 (金)

第3回 令和 6 年 2 月 6 日 (火)

会 場 第1回 三種町社会福祉協議会

第2回 本荘由利産学共同研究センター

第3回 大館市社会福祉協議会

参加者 第1回 6 名

第2回 3 名

第3回 7 名

内 容 講義及び演習「ファシリテーションの役割とは」他

講師 株式会社グットラックプロデュースけあまね処 グットと楽

市民活動団体おもしえど・かだればあ代表

NPO法人まちづくり学校 事業推進部 鈴木のぞみ 氏

⑤お互いさまスーパー みせっこあさみない視察研修

期 日 第1回 令和 5 年 12 月 21 日 (木)

第2回 令和 6 年 2 月 29 日 (木)

会 場 みせっこあさみない

参加者 第1回 5 名

第2回 6名

内 容 講演「お互いさまスーパーみせっこあさみないができるまで」

講師 浅見内活性化委員会会長、浅見内町内会会長 渡邊律雄 氏

⑥生活支援コーディネーターによる情報交換会

期 日 令和6年3月8日(金)

会 場 北秋田市文化会館

参加者 9名

内 容 「地域課題の吸い上げ方や地域連絡網の整備などの成果について」他
ファシリテーター

株式会社グットラックプロデュースけあまね処 グットと楽

市民活動団体おもしえど・かだればあ代表

NPO法人まちづくり学校 事業推進部 鈴木のぞみ 氏

⑦生活支援コーディネーターリレートーク

配信 令和5年10月から概ね月2回

(3)自立支援・介護予防普及事業

①自立支援・介護予防普及トップセミナー

期 日 令和5年11月22日(水)

会 場 潟上市市民センター かたりあん

参加者 30名

内 容 行政説明「第9期計画における生活支援体制整備事業の重要性・他施策と
の連動について」

講師 厚生労働省東北厚生局 地域包括ケア推進課

地域包括ケア推進官 相澤裕介 氏

講義「地域資源が少ない地域での生活支援体制整備事業の進め方」他

講師 東海大学建築都市学部建築学科 特任准教授

東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員 後藤純 氏

②自立支援型地域ケア会議実践研修

ア 基本編

期 日 令和5年7月29日(土)

会 場 秋田県 JA ビル9階コンベンションホール

参加者 39名

内 容 講義・グループワーク「模擬・自立支援型地域ケア会議とは」他

講師 東海大学建築都市学部建築学科 特任准教授

東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員 後藤純 氏

ファシリテーター10名

イ 事業所編

期 日 令和5年10月21日(土)

会 場 秋田県社会福祉会館10階大会議室

参加者 19名

内 容 講義1「自立支援に資するケアマネジメントとは」

講師 株式会社グットラックプロデュース けあまね処グッと楽
主任介護支援専門員 鈴木のぞみ 氏

講義2「連携すること、地域資源を活用すること」

講義・演習「介護予防・自立支援におけるケアプラン分析について」

講師 東海大学建築都市学部建築学科 特任准教授
東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員 後藤純 氏
ファシリテーター

秋田県自立支援・介護予防普及アドバイザー

宮田信悦 氏、鈴木のぞみ 氏

ウ 応用編Ⅰ「令和5年度自立支援型地域ケア会議推進事業」

～自立支援・介護予防推進公開セミナー～

期 日 令和5年12月2日(土)

会 場 能代山本広域交流センター

参加者 87名

内 容 「介護が必要になっても、住み慣れた場所で自分らしい生活を続けていく為に」

講義1「かかりつけ医とこれからの地域医療」

講師 一般社団法人能代市山本郡医師会 副会長
小泉医院 院長 小泉亮 氏

講義2「長生きのコツ、老いの工夫」

講師 秋田県自立支援・介護予防普及アドバイザー
田村大 氏

講義3「まちづくりとして考える自立支援」「フレイルチェック」

講師 東海大学建築都市学部 特任准教授
東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員 後藤純 氏

応用編Ⅱ

期 日 令和5年12月3日(日)

会 場 花火伝統文化継承資料館 はなび・アム

参加者 40名

内 容 講義・演習「蓄積された地域課題を地域づくり・資源開発、政策形成へと繋げる手法」

講師 東海大学建築都市学部 特任准教授

東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員 後藤純 氏

③自立支援・介護予防普及アドバイザー養成研修

ア 養成研修

期 日 第1回 令和5年9月29日(金)

第2回 令和5年10月10日(火)

第3回 令和5年10月16日(月)

第4回 令和5年11月6日(月)

第5回 令和5年11月16日(木)

会場 オンライン

参加者 第1回 23名(録画聴講1名)

第2回 22名(録画聴講2名)

第3回 22名(録画聴講2名)

第4回 21名(録画聴講3名)

第5回 18名(録画聴講6名)

内容 講義「自立支援型地域ケア会議の推進・実践」

～秋田県自立支援・介護予防普及アドバイザーとして活動するには～

講師 東海大学建築都市学部 特任准教授

東京大学高齢社会総合研究機構客員研究員 後藤純氏

イ フォローアップ研修及び情報交換会

期日 令和6年1月16日(火)

会場 秋田県社会福祉会館

参加者 12名

内容 「秋田県自立支援・介護予防普及アドバイザーマニュアル作成会議
及情報交換会」

オブザーバー 東海大学建築都市学部 特任准教授

東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員 後藤純氏

ファシリテーター 秋田県自立支援・介護予防普及アドバイザー
鈴木のぞみ氏

(4) 専門職・アドバイザー・オブザーバー派遣事業

① 専門職派遣 (自立支援型地域ケア会議)

派遣職種 薬剤師、歯科衛生士、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、
言語聴覚士、福祉用具専門相談員

派遣場所 大仙市 令和5年12月3日(日)

三種町 令和5年6月1日(木)

令和5年8月30日(水)

令和5年11月29日(水)

令和6年2月21日(水)

八郎潟町 令和5年8月22日(火)

② 自立支援・介護予防普及アドバイザー派遣 (自立支援型地域ケア会議)

派遣場所 秋田市 令和5年11月17日(金)

能代市 令和5年6月30日(金)

男鹿市 令和5年8月26日(土)

湯沢市 令和 5 年 7 月 10 日 (月)
三種町 令和 5 年 6 月 1 日 (木)
令和 5 年 8 月 30 日 (水)
令和 5 年 11 月 29 日 (水)
令和 6 年 2 月 21 日 (水)

推進項目 2 地域づくり活動基盤の整備

<事業項目 1 地域における支え合いの仕組みづくりの推進>

1 地域の福祉力向上事業【共同募金助成事業】

(1)地域の福祉力強化研修（支え合いマップインストラクター養成講座）

期 日 令和 5 年 11 月 6 日 (月) ～ 7 日 (火)、12 月 19 日 (火)

会 場 秋田市民交流プラザ

参加者 11 名

内 容 講義・演習

講 師 淑徳大学総合福祉学部 准教授 菅野道生 氏

2 ネットワーク活動連携推進モデル事業【共同募金助成事業】

モデル指定 大仙市社会福祉協議会

<事業項目 2 民生委員・児童委員活動への支援>

1 民生委員・児童委員の資質向上

(1)民生委員児童委員協議会会長研修

期 日 令和 5 年 10 月 31 日 (火) ～ 11 月 1 日 (水)

会 場 ANAクラウンプラザホテル (秋田市)

参加者 129 名

内 容 講義「民児協活動の活性化と会長の役割」

グループ協議「防災の取組に関する情報交換を通じて民児協の内と外の
連携・協働を促進する」

講師 国際医療福祉大学大学院

医療福祉学分野責任者 教授 小林雅彦 氏

基調説明「民生委員・児童委員を取り巻く課題とその対応について」

全国社会福祉協議会民生部長 平井庸元 氏

(2) 中堅民生委員・児童委員研修会

<県南地区>

期 日 令和 5 年 9 月 20 日 (水)

会 場 横手セントラルホテル (横手市)

参加者 39名

<秋田市>

期 日 令和5年9月22日(金)

会 場 パーティーギャラリーイヤタカ(秋田市)

参加者 62名

<県北地区>

期 日 令和5年9月26日(火)

会 場 ルネッサンスガーデンプラザ杉の子(大館市)

参加者 48名

<県央地区>

期 日 令和5年9月29日(金)

会 場 パーティーギャラリーイヤタカ(秋田市) ※オンライン併用(全県対象)

参加者 231名(会場10名、オンライン221名)

内 容 講義「地域住民との関り方や対応方法～相談現場で考える自殺対策～」

演習「地域住民との関り方や対応方法～事例検討で学ぶ対応方法～」

講師 特定非営利活動法人蜘蛛の糸 理事長 佐藤久男 氏

(3) 新任民生委員・児童委員ステップアップ研修〔社会福祉基礎編〕

期 日 令和5年8月21日(月)

会 場 秋田キャッスルホテル(秋田市) ※オンライン併用

参加者 500名(会場138名、オンライン362名)

内 容 講義1「高齢者を取り巻く現状と民生委員・児童委員に求められる役割について」

講師 牛島地域包括支援センター南寿園 管理者 佐々木基成 氏

講義2「困難を抱える子どもの現状と民生委員・児童委員に求められる役割について」

講師 秋田県健康福祉部 地域・家庭福祉課 調整・地域福祉チーム職員

講義3「多様性に満ちた社会づくり(差別の解消)に向けて」

講師 秋田県あきた未来創造部 あきた未来戦略課 企画チーム職員

2 民生委員互助共励事業の実施

(1) 弔慰金及び見舞金等の給付

給付内容	公務傷害	一般死亡	配偶者死亡	一般傷病	災害見舞	退任慰労
件数	4件	10件	15件	60件	17件	23件
金額	140,000円	300,000円	150,000円	580,000円	1,100,000円	103,000円

(2) 指定民生委員児童委員協議会の育成

民児協名	活 動 の 重 点	現地訪問	会場
秋田市川尻地区 民生児童委員協議会	・子育て家庭への訪問、サロン活動 ・高齢者世帯のひきこもり防止	令和5年 5月8日(月)	川尻地区コミュニ ティセンター
横手市十文字 民生児童委員協議会	・緊急時要援護者支援活動の整備 ・相談機能及び民児協機能強化	令和5年 5月17日(水)	横手市十文字地 区交流センター

(3) 児童委員活動研修会

期 日 令和5年7月27日(木)

会 場 秋田キャッスルホテル(秋田市) ※オンライン併用

参加者 252名(会場107名、オンライン145名)

内 容 講義「ヤングケアラーについて考える」

講師 成蹊大学文学部 教授 澁谷智子氏

事例発表「子ども食堂を通じた地域での子育て支援活動について」

あさひこども食堂 代表 坂上喜也氏

向能代こども食堂 代表 腰山郁子氏

(4) 生活福祉資金担当民生委員及び市町村社協担当職員合同研修会 (再掲)

<事業項目3 地域におけるボランティア・市民活動の育成支援>

1 地域福祉の推進に向けたボランティア活動や市民活動への支援

(1) あきた車いすリサイクリング

修理活動の参加高校(6校)

能代科学技術高等学校、男鹿工業高等学校、秋田工業高等学校

大曲工業高等学校、横手清陵学院高等学校、湯沢翔北高等学校

車いす贈呈先

スリランカ、タイ

調整等の窓口となっている公益財団法人日本社会福祉弘済会で保管中

参 加 校	修理台数(修理中含む)
能代科学技術高等学校	2台
男鹿工業高等学校	2台
秋田工業高等学校	7台
大曲工業高等学校	6台
横手清陵学院高等学校	3台
湯沢翔北高等学校	1台
計	21台

(2) あきた車いすリサイクリング修理出張講習会

期 日 令和5年8月21日(月)

会 場 秋田工業高等学校

参加者 3名

内 容 演習「車いす修理のポイントについての講習」

講師 株式会社みらい みらい工房 早瀬尚文 氏
期 日 令和 5 年 8 月 31 日 (木)
会 場 大曲工業高等学校
参加者 6 名
内 容 演習「車いす修理のポイントについての講習」
講師 株式会社みらい みらい工房 早瀬尚文 氏
期 日 令和 5 年 9 月 28 日 (木)
会 場 男鹿工業高等学校
参加者 6 名
内 容 演習「車いす修理のポイントについての講習」
講師 株式会社みらい みらい工房 早瀬尚文 氏
期 日 令和 5 年 10 月 6 日 (金)
会 場 湯沢湘北高等学校
参加者 3 名
内 容 演習「車いす修理のポイントについての講習」
講師 株式会社みらい みらい工房 早瀬尚文 氏
期 日 令和 5 年 11 月 24 日 (金)
会 場 能代科学技術高等学校
参加者 5 名
内 容 演習「車いす修理のポイントについての講習」
講師 株式会社みらい みらい工房 早瀬尚文 氏

(3) 地域貢献活動助成

助成校 (3 校)

大仙市立中仙中学校

活動名「八乙女YOSAKOI 2023 地域貢献活動」

秋田県立六郷高等学校

活動名「美郷町ラベンダーを地域の高齢者に届けよう」

秋田県立増田高等学校

活動名「十文字和紙の伝統や手漉きの技術を学び、ものづくりで地域の魅力を発信する」

2 福祉教育推進事業【共同募金助成事業】

(1) 福祉教育推進セミナーの開催

期 日 令和 6 年 2 月 20 日 (火)
会 場 秋田拠点センター ALVE
参加者 19 名
内 容 講義「地域・学校・社協の協働による地域共生社会の実現を目指した福祉教育」
グループ協議「福祉教育における地域や学校・社協への効果的なアプロー

チと連携・協働について」

講師 八戸学院大学健康医療学部 教授 吉田守実 氏

(2) 市町村における福祉教育事業への支援

秋田県ボランティア団体連絡協議会への支援

(3) 福祉教育推進検討委員会

第2回

期 日 令和5年5月22日(月)

会 場 秋田県社会福祉会館

内 容 アンケート調査結果について

福祉教育推進に向けた社会資源の発掘と連携について

第3回

期 日 令和6年1月30日(火)

会 場 秋田県社会福祉会館

内 容 湯沢市の取組

子どもたちに対して、どのような福祉教育が出来るか

※第1回は令和4年度に開催

3 介護等体験調整事業

介護等体験参加者 160名

申込学校数 5校(県内4校、県外1校)

体験受け入れ協力施設 46施設

<事業項目4 課題解決に向けた県民啓発の強化>

1 情報提供機能の充実

(1) 「社会福祉あきた」の発行

発行回数 5回

発行部数 各5,000部(372号は6,200部)

(2) ホームページ等を活用した情報提供の強化

ニュース&トピックス74件、バナー広告4社

Facebookへの記事掲載38件

(3) メールマガジンの配信

月2回配信(対象693カ所)

2 秋田県社会福祉大会

期 日 令和5年10月30日(月)

会 場 あきた芸術劇場ミルハス

参加者 673名

表彰式典 秋田県知事表彰 145名7団体

秋田県社会福祉協議会会長表彰 120名 10団体

実践発表 「わたし流・親子の居場所づくり～親子の集いの場「陽だまりサロン」を通して～」

発表者 秋田県児童会館みらいあ 館長 若松亜紀氏

記念講演 「子どもは歴史の希望 ～こどもまんなか社会と地域文化の伝承～」

講師 一般財団法人児童健全育成推進財団 理事長 鈴木一光氏

3 県民フォーラム【共同募金助成事業】

「災害における備えと支援について地域でできることを考えるあきた県民フォーラム」

期 日 令和6年3月17日(日)

会 場 ホテルメトロポリタン秋田

参加者 64名

内 容 講演「近年の自然災害と災害への備えについて地域でできること」

講師 株式会社TNP代表取締役 野村忠司氏

講演「自然災害から大切な命を守るために～被災者支援について～」

講師 アークネクスト代表 田原ひとみ氏

<事業項目5 高齢者の生きがい・健康づくりの推進>

1 高齢者の健康づくり及び創作活動の支援

(1) 第35回全国健康福祉祭愛顔(えがお)のえひめ大会への選手派遣

期 日 令和5年10月28日(土)～31日(火)

会 場 愛媛県内

参加者 103名

種 目 スポーツ関連イベント：スポーツ交流大会 10種目、ふれあいスポーツ交流大会 15種目

生きがい関連イベント：5種目

(2) いきいき長寿あきた2023ねんりんピック スポーツ親睦大会

期 日 令和5年8月5日(土)～令和6年2月25日(日)

会 場 大館樹海ドーム、秋田市八橋運動公園周辺各競技場、秋田県営中央公園スカイドーム、中央シルバーエリア体育館 等

参加者 1,717名 (22種目開催)

種 目	期 日
弓道	令和5年8月5日(土)
ペタンク	令和5年8月9日(水)
ソフトテニス	令和5年9月2日(土)
太極拳	令和5年9月3日(日)
剣道	令和5年9月9日(土)
グラウンドゴルフ(県北)	令和5年9月12日(火)
テニス	令和5年9月14日(木)

囲碁	令和 5 年 9 月 16 日 (土)
将棋	令和 5 年 9 月 16 日 (土)
ゲートボール	令和 5 年 9 月 22 日 (金)
ソフトボール	令和 5 年 9 月 24 日 (日)
グラウンドゴルフ (県南)	令和 5 年 10 月 3 日 (火)
シャフルボード	令和 5 年 10 月 5 日 (木)
パークゴルフ	令和 5 年 10 月 9 日 (月)
健康マーじゃん	令和 5 年 10 月 22 日 (日)
グラウンドゴルフ (中央)	令和 5 年 11 月 7 日 (火)
ミニテニス	令和 5 年 11 月 23 日 (木)
スマイルボウリング	令和 5 年 11 月 24 日 (金)
ニチレクボール	令和 5 年 12 月 7 日 (木)
卓球	令和 5 年 12 月 9 日 (土)
ソフトバレーボール	令和 6 年 2 月 11 日 (日)
ダンススポーツ	令和 6 年 2 月 25 日 (日)

(3)いきいき長寿あきた 2023 ねんりんピック 福祉・文化のつどい

期 日 令和 5 年 10 月 17 日 (火)

会 場 秋田拠点センターアルヴェ

内 容 いきいき講演会、いきいき活動発表

いきいき講演会

演題「夢 希望を持って」

一般社団法人市民活動あきた 理事長 門脇光浩 氏

演題「秋田から全国へソーセージ レボリューション」

株式会社 I M I ポルミート

代表取締役 タベルスキ マイケル 氏

いきいき活動発表

フォークダンス 土崎フォークダンス協会

民謡 えがったなあ会

(4)いきいき長寿あきた 2023 ねんりんピック ねんりん美術展

期 日 令和 5 年 10 月 17 日 (火) ~19 日 (木)

会 場 秋田拠点センターアルヴェ

内 容 ねんりん美術展

出品者 70 名、観覧者 702 名

2 高齢者の生きがいと健康づくりに関する情報収集・提供

(1)仲間づくりの支援

ホームページや広報を通じて県内のサークル活動を紹介した。

(2)いきいきシニア生活誌「ロングライフ」の発行

発行回数 2 回 (No.145、No.146)

発行部数 各 3,000 部

(3) 「元気にとしよる十ヶ条」の普及啓発

高齢者の健康や生きがいつくりの秘訣等となる「元気にとしよる十ヶ条」を、県民各層に対して啓発を図った。

3 高齢者が活躍する場づくり支援事業【高齢者未来づくり支援基金事業】

(1) 高齢者が活躍する場づくり助成事業

① 人材発掘・養成に係る活動（3件）

潟上市老人クラブ連合会（潟上市）

「高齢者のための健康づくりセミナー 宅急便」

保呂羽地区自治会（横手市）

「山菜部会生きがいつくり活動拡大事業」

みずほの里直売会（美郷町）

「直売会を核とした高齢者の生きがいつくり事業」

② 地域の課題解決や地域の活性化に資する活動（9件）

船岡いきいきチャレンジ（大仙市）

「宇津野健けんサロン」

飯島地域もりあげ隊（秋田市）

「初心者サークル（趣味）活動体験教室」

芦崎地区 ひまわりサロン（三種町）

「芦崎地区 介護予防サロン」

羽場・市野・皿小屋地域 生活サポートシステム（湯沢市）

「高齢者世帯への雪下ろし等の支え合い活動」

ケイロウくらぶ（大館市）

「介護予防のための「心身フレイル予防」講座」

前野えんじょいクラブ（北秋田市）

「高齢者活動活性化事業」

豊岡介護予防サロン（三種町）

「豊岡介護予防サロン」

上杉げんき応援隊（北秋田市）

「助け合い・支え合いの絆を育む居場所づくり」

東日本大震災による避難者を支援する秋田県南連絡協議会

「地域サロン等による「いきいき生活」支援事業」

(2) ニュースポーツ振興事業

① ニュースポーツ用具の貸出 55件

スカットボール、ボッチャ、シャフルボード、ニチレクボール、スマイルボウリング、室内用ペタンクボール、カラーリング

② ニュースポーツインストラクターの派遣 12件

(3) ロングライフ講座

会場・参加者

会 場	前期	後期	合計
秋田会場（秋田県社会福祉会館）	29 名	23 名	52 名
大館会場（大館市北地区コミセン）	21 名	8 名	29 名
能代会場（能代市文化会館）	19 名	21 名	40 名
潟上会場（かたりあん）	43 名	37 名	80 名
北秋田会場（北秋田市交流センター）	23 名	17 名	40 名
湯沢会場（湯沢市文化会館）	18 名	14 名	32 名
横手会場（サンサン横手）	25 名	20 名	45 名
合 計	178 名	140 名	318 名

内 容 「こころとからだのリフレッシュ」

健康運動指導士 柴田栄宜 氏

「おもしろ講座」

お笑いマルチタレント 北嶋一美 氏

「音楽でフレッシュ！」

音楽療法教室 平川真実 氏

「気象の知識を暮らしの中へ」

気象予報士 鳥潟幸男 氏

「笑顔で元気 健康寿命を延ばすためには」

介護予防健康アドバイザー 小山田聖子 氏

「健康長寿ライフ」

秋田県レクリエーション協会副理事長 谷藤勉 氏

「ニュースポーツ体験」

室内用ペタンク・ラダーゲッター

秋田県レクリエーション協会副理事長 菊地義寿 氏 ほか

<事業項目6 県民の善意による支援の充実>

1 善意銀行の運営

(1) 金銭・物品の預託の受け入れ、調整、払出し

〔金銭預託状況〕 預託件数 5 件 預託金額 1,289,050 円

〔金銭払出状況〕 払出件数 1 件 払出金額 250,000 円

※他 1 件は令和 6 年度払出

あきた子ども応援ネットワーク登録団体へ 1 件（6 カ所）

〔物品預託状況〕

預託件数 5 件

（預託物品）

車椅子（自走式 10 台、リクライニング式 10 台）

点字カレンダー（250 部）

自走式車椅子（10 台）

写真（52 点）

カレンダー（121 部）

〔物品払出状況〕

物品払出件数 65 件

（払出先）

県内社会福祉施設等 36 件

県内市町村社会福祉協議会 25 件

県内社会福祉団体等 4 件

(2) 広報

「社会福祉あきた」へ掲載

贈呈式の様子をフェイスブックへ投稿

(3) その他助成・奨励事業の情報提供・斡旋

民間社会福祉助成事業の紹介

ホームページへの掲載・周知

福祉関係者への助成・車両寄贈の寄贈先の調整

生命保険協会秋田県協会からの寄贈

市町村社会福祉協議会 1 か所へ車両 1 台

障害者福祉施設 4 か所へ各 100,000 円

高齢者支援団体 2 か所へ各 75,000 円

2 災害遺児愛護基金事業への寄附金の充実

(1) 金銭寄附状況

件数 29 件 金額 2,511,352 円

(2) 災害遺児の状況

令和 6 年 3 月 31 日現在災害遺児数 22 名（保護者数 13 名）

令和 5 年度に新たに対象となった災害遺児数 6 名（保護者数 2 名）

(3) 給付金支給状況

見舞金 6 名 600,000 円

激励金 22 名 660,000 円

卒業祝金 支給対象者なし

入学祝金 5 名 250,000 円

(4) 災害遺児愛護基金事業運営委員会

期 日 令和 5 年 6 月 13 日（火）

会 場 秋田県社会福祉会館

内 容 令和 4 年度事業報告

寄附金・給付金等の状況について

事業の PR 活動の取組について

3 共同募金運動への協力

(1) 共同募金運動への協力

赤い羽根共同募金広域助成交付書伝達式への係員派遣

赤い羽根共同募金広域助成公開プレゼンテーションへの係員派遣

赤い羽根共同募金運動街頭募金への係員派遣

広報『社会福祉あきた』への掲載

(2) 歳末たすけあい運動への協力

運動実施に関する市町村社会福祉協議会への周知

推進項目3 地域における公益活動の推進

<事業項目1 地域と社会福祉施設との協働事業の推進>

1 社会福祉法人・施設と社協の連携による地域公益活動の推進

(1) 秋田県地域公益活動事業推進委員会

期 日 令和5年11月7日(火)

会 場 秋田県社会福祉会館

内 容 今後の事業の在り方について

(2) 地域における公益的な取組推進セミナー(再掲)

期 日 令和6年2月20日(火)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 46名

内 容 講義「社会福祉法人における【地域における公益的な取組の意義】」

「社会福祉法人の責務とこれからのフクシ【地域における公益的な取組の意義】」

推進項目4 行政と社協のパートナーシップの強化

<事業項目1 生活福祉課題に対する調査研究・提言機能の強化>

1 地域福祉推進委員会

(1) 地域福祉推進委員会

第1回 期 日 令和5年7月25日(火)

会 場 秋田県社会福祉会館(オンライン併用)

内 容 委員長及び副委員長の選任について

専門委員会の実施状況について

令和5年度福祉課題について

第2回 期 日 令和5年9月25日(月)

- 会 場 秋田県社会福祉会館（オンライン併用）
内 容 令和5年度における県との政策要望・政策協議について
- 第3回 期 日 令和6年1月31日（水）
会 場 秋田県社会福祉会館（オンライン併用）
内 容 秋田県地域福祉行政懇談会について
専門委員会の取組状況について
地域福祉活動計画（素案）に対する意見について
- 第4回 期 日 令和6年3月13日（水）
会 場 秋田県社会福祉会館（オンライン併用）
内 容 次年度の地域福祉推進委員会の取組について
福祉課題の調査について

(2) 専門委員会

① 地域福祉活動計画策定委員会

第1回

- 期 日 令和5年8月17日（木）
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 現行活動計画の検証について
現行活動計画実施計画を踏まえた今後の課題について

第2回

- 期 日 令和5年9月26日（火）
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 新地域福祉活動計画の策定方針について
新地域福祉活動計画の骨子案について

第3回

- 期 日 令和6年1月11日（木）
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 新地域福祉活動計画の素案について

第4回

- 期 日 令和6年2月14日（水）
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 新地域福祉活動計画について

② 福祉教育推進検討委員会（再掲）

第2回

- 期 日 令和5年5月22日（月）
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 アンケート調査結果について
福祉教育推進に向けた社会資源の発掘と連携について

第3回

期 日 令和 6 年 1 月 30 日 (火)
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 湯沢市の取組
子どもたちに対して、どのような福祉教育が出来るか

※第 1 回は令和 4 年度に開催

③社会福祉施設災害ネットワーク会議

期 日 令和 6 年 3 月 22 日 (金)
会 場 オンライン
参加者 5 名
内 容 これまでの取組状況について
災害時における各種別協の取組について

2 調査研究・政策提言活動の強化

地域福祉推進委員会で検討した政策要望書を県に提出するとともに、県健康福祉部及び教育庁幼保推進課と政策協議を行った。

<秋田県地域福祉行政懇談会>

期 日 令和 5 年 10 月 11 日 (水)
会 場 アキタパークホテル
内 容 要望 災害福祉支援センターの設置に向けた検討について (秋田県社会福祉協議会)
協議 1 民生委員・児童委員と関係機関の情報共有のあり方と負担の軽減について (秋田県民生児童委員協議会)
協議 2 物価高騰及び職員の処遇向上を踏まえた介護・障害福祉サービス報酬改定について (秋田県社会福祉法人経営者協議会)
協議 3 障害者の重度化・高齢化、医療ニーズの増大への対応方針について (秋田県知的障害者福祉協会)
協議 4 過疎地域での保育機能の確保と新たな保育ニーズへの対応について (秋田県保育協議会)
協議 5 福祉サービス第三者評価事業における実施上の課題と今後の展望について (秋田県社会福祉協議会)

推進項目 5 災害支援体制づくりの推進

<事業項目 1 災害支援体制の構築>

1 市町村社協における災害支援体制の構築

- (1) 災害ボランティアセンター設置運営マニュアル策定及び見直しに向けた支援
災害ボランティア研修を通して、市町村社会福祉協議会災害ボランティアセンター設置運営マニュアルの策定や見直しを働きかけることにより、災害支援体制構築の

支援を行った。

(2) 災害ボランティア活動実地訓練

期 日 令和 5 年 11 月 9 日 (木)

会 場 幡野地区センター (湯沢市)

参加者 35 名

内 容 講義・演習「災害ボランティアセンターの仕組みや役割について」
「地域の様々な担い手の参加と協力について」
「災害ボランティアセンターの設置・運営訓練」

講師 特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク
理事長 李仁鉄 氏

2 災害ボランティアセンターを担い支える人材の確保と養成

(1) 災害ボランティアコーディネーターフォローアップ研修

期 日 令和 5 年 6 月 16 日 (金)

会 場 秋田市民交流プラザ 秋田拠点センターアルヴェ

参加者 30 名

内 容 講義・演習「ICTとは」
「ICTを活用した被災地から学び考える」

講師 合同会社HUGKUMI 代表社員 長井一浩 氏
合同会社HUGKUMI 業務執行社員 小島寛 氏

(2) 災害ボランティア活動実践研修会

期 日 令和 5 年 6 月 29 日 (木)

会 場 八郎潟町えきまえ交流館はちパル (八郎潟町)

参加者 24 名

内 容 講義・演習「災害時の救援活動とボランティア・地域の実情」
「災害初期の地域における支援活動」

講師 特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク
理事長 李仁鉄 氏

期 日 令和 5 年 6 月 30 日 (金)

会 場 鶴舞会館 (由利本荘市)

参加者 48 名

内 容 講義・演習「災害時の救援活動とボランティア・地域の実情」
「災害初期の地域における支援活動」

講師 特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク
理事長 李仁鉄 氏

期 日 令和 5 年 10 月 11 日 (水)

会 場 上小阿仁村保健センター (上小阿仁村)

参加者 40 名

- 内 容 講義・演習「災害時の救援活動とボランティア・地域の実情」
「災害初期の地域における支援活動」
講師 特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク
理事長 李仁鉄 氏
- 期 日 令和 5 年 10 月 12 日（木）
- 会 場 合川公民館（北秋田市）
- 参加者 45 名
- 内 容 講義・演習「災害時の救援活動とボランティア・地域の実情」
「災害初期の地域における支援活動」
講師 特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク
理事長 李仁鉄 氏
- 期 日 令和 5 年 10 月 13 日（金）
- 会 場 八竜農村環境改善センター（三種町）
- 参加者 35 名
- 内 容 講義・演習「災害時の救援活動とボランティア・地域の実情」
「災害初期の地域における支援活動」
講師 特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク
理事長 李仁鉄 氏

<事業項目 2 災害に備えた広域支援ネットワークの充実>

1 災害福祉広域支援体制整備事業

(1) 秋田県災害福祉広域支援ネットワーク協議会会議

- 期 日 令和 6 年 3 月 22 日（金）
- 会 場 オンライン
- 参加者 5 名
- 内 容 災害時における福祉支援活動の現状について
秋田県災害派遣福祉チームの研修並びに養成状況について
秋田県災害派遣福祉チームの活動状況について

(2) 秋田県災害派遣福祉チーム員登録基礎研修

[1 回目]

- 期 日 令和 5 年 6 月 16 日（金）～17 日（土）
- 会 場 秋田県社会福社会館
- 参加者 7 名
- 登録者 7 名
- 内 容 講義 I 「福祉支援活動の必要性」
講師 東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築光一 氏
講義 II 「秋田県が目指す災害派遣福祉チームとは」
講師 秋田県健康福祉部地域・家庭福祉課 主事 菅生風雅 氏

講義Ⅲ「秋田県災害派遣福祉チーム活動マニュアル」

講師 秋田県社会福祉協議会 施設振興・人材・研修部 職員

講義Ⅳ「活動マニュアルの留意点」

講師 東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築光一 氏

講義Ⅴ「チーム活動の実際」

講師 生活支援多機能ホームパインの零 計画作成担当者 高杉勇希 氏

演習ⅠⅡ「活動シミュレーションⅠⅡ」

講師 東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築光一 氏

ファシリテーター

社会福祉法人男鹿偕生会 理事長 佐藤哲彦 氏

生活支援多機能ホームパインの零 計画作成担当者 高杉勇希 氏

介護老人保健施設成寿苑 介護福祉士 斉藤隆広 氏

秋田けやき会デイサービスセンター 管理者 松井浩文 氏

特別養護老人ホーム魁聖園 生活相談員 田口由貴子 氏

[2回目]

期 日 令和5年11月2日(木)～3日(金)

会 場 2～3日 秋田県社会福祉会館

参加者 11名

登録者 11名

内 容 講義Ⅰ「福祉支援活動の必要性」

講師 東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築光一 氏

講義Ⅱ「秋田県が目指す災害派遣福祉チームとは」

講師 秋田県健康福祉部地域・家庭福祉課 主事 菅生風雅 氏

講義Ⅲ「秋田県災害派遣福祉チーム活動マニュアル」

講師 秋田県社会福祉協議会 施設振興・人材・研修部 職員

講義Ⅳ「活動マニュアルの留意点」

講師 東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築光一 氏

講義Ⅴ「様式集について」

講師 社会福祉法人男鹿偕生会 理事長 佐藤哲彦 氏

講義Ⅵ「チーム活動の実際」

講師 盛岡赤十字病院 医療社会事業部 社会福祉士 小泉進 氏

演習ⅠⅡ「活動シミュレーションⅠⅡ」

講師 東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築光一 氏

ファシリテーター

社会福祉法人男鹿偕生会 理事長 佐藤哲彦 氏

盛岡赤十字病院 医療社会事業部 社会福祉士 小泉進 氏

大潟村特別養護老人ホームひだまり苑

介護支援専門員 西山まゆみ 氏

居宅介護支援センター南海 介護支援専門員 工藤智経 氏
大館市養護老人ホーム成章園 片山貴博 氏

(3) 秋田県災害派遣福祉チーム員スキルアップ研修 I

期 日 令和 6 年 1 月 25 日 (木) ~ 27 日 (土)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 12 名

内 容 講義 I 「近年の動向」

講師 東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築光一 氏

講義 II 「活動マニュアルの理解」

講師 秋田県社会福祉協議会 施設振興・人材・研修部 職員

講義 III 「福祉支援対象者の理解」

講師 東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築光一 氏

講義 IV 「様式集について」

講師 介護老人保健施設成寿苑 介護福祉士 斉藤隆広 氏

講義 V 「避難所等での各種団体との連携の在り方」

講師 盛岡赤十字病院医療社会事業部 社会福祉士 小泉進 氏

講義 VI 「活動記録の方法と点検及びスクリーニング方法」

講師 東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築光一 氏

演習 I ~ IV 「活動シミュレーション I ~ IV」

講師 東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築光一 氏

ファシリテーター

盛岡赤十字病院医療社会事業部 社会福祉士 小泉進 氏

介護老人保健施設成寿苑 介護福祉士 斉藤隆広 氏

指定障がい福祉サービス事業所愛仙

サービス管理責任者 石川晴久 氏

障害者支援施設かわ舟の里角間川 支援員主任 丸山めぐみ 氏

特別養護老人ホーム魁聖園 生活相談員 田口由貴子 氏

(4) 秋田県災害派遣福祉チーム活動訓練

期 日 令和 5 年 9 月 3 日 (日)

会 場 大仙市立仙北中学校

参加者 指定障がい福祉サービス事業所愛仙 サービス管理責任者 石川晴久 氏

障害者支援施設かわ舟の里角間川 支援員主任 丸山めぐみ 氏

秋田けやき会デイサービスセンター 管理者 松井浩文 氏

特別養護老人ホーム魁聖園 生活相談員 田口由貴子 氏

アドバイザー 東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築光一 氏

(5) 秋田県災害派遣福祉チームの被災地派遣

派遣先 石川県 (令和 6 年能登半島地震被災地)

期 間 令和 6 年 1 月 30 日 (火) ~ 2 月 10 日 (土)

人 数 12名

活 動 1クール

派遣期間 令和6年1月30日(火)～2月4日(日)

派遣先 石川県庁本部付け

チーム員 秋田けやき会デイサービスセンター 松井浩文氏(リーダー)
救護施設玉葉荘 松岡龍也氏

秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部職員

活動内容 避難所巡回・情報収集、奥能登活動拠点探し

2クール

派遣期間 令和6年2月2日(金)～7日(水)

派遣先 石川県志賀町

チーム員 特別養護老人ホームひだまり苑 西山まゆみ氏(リーダー)
横手市社会福祉協議会雄物川福祉センター

指定居宅介護支援事業所 塩田一紀氏

特別養護老人ホーム希望苑 北林瑞恵氏

秋田県社会福祉協議会 施設振興・人材・研修部職員

活動内容 避難所統廃合支援・開設準備、避難所運営

3クール

派遣期間 令和6年2月5日(月)～10日(土)

派遣先 石川県志賀町

チーム員 特別養護老人ホーム魁聖園 田口由貴子氏(リーダー)
大館市社会福祉事業団 成章園 片山貴博氏

感恩講児童保育院 斉藤康太氏

秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部職員

秋田県社会福祉協議会 施設振興・人材・研修部職員

(施設振興・人材・研修部職員は2月7日から10日まで)

活動内容 避難所運営

2 災害時の広域支援ネットワーク会議

(1) 社会福祉施設災害ネットワーク会議の開催(再掲)

《基本方針2 福祉サービスの基盤づくり－働きやすくやりがいの感じられる
福祉の職場づくりの推進－》

推進項目1 福祉人材の確保・育成・定着の推進

＜事業項目1 福祉人材の確保とマッチングの促進＞

1 求人開拓の推進

(1) 福祉人材キャリア支援専門員による事業所訪問の推進

事業所訪問数	669 カ所
関係機関訪問数	317 カ所
ハローワーク訪問数	113 カ所
計	1,099 カ所

(2) 福祉人材情報システム（COOL システム）への登録促進

新規求人事業所数	758 カ所
有効求人事業所数	1,792 カ所

2 無料職業紹介機能の強化

(1) 福祉人材センターにおける求人・求職相談、登録受付状況

区 分	実 績	対前年増減	月平均
新規求人数（名）	2,553	596	213
有効求人数（A）（名）	7,561	1,752	630
新規求人事業所数（カ所）	758	137	63
有効求人事業所数（カ所）	1,792	329	149
応募・紹介数（名）	99	47	8
採用人数（名）	63	33	5
新規求職者数（名）	320	95	27
有効求職者数（B）（名）	868	258	72
有効求人倍率（A/B）（倍）	8.71	—	—

(2) 福祉人材センターにおける求人・求職相談、登録受付状況

求人相談	4,668 件	月平均 389 件
求職相談	3,023 件	月平均 252 件

(3) 福祉人材キャリア支援専門員による出張相談状況

職業訓練受講者向け就職相談会	3 回
ハローワークプラザアトリオン	12 回
求職者との個別面談等	145 回
計	160 回

(4) 関係機関主催事業における求職相談・求人及び求職登録の勧奨

① 県主催事業

（秋田県あきた未来創造部移住・定住促進課）

令和 5 年 6 月 7 日 (水) 「秋田県合同就職面接会」
令和 5 年 12 月 26 日 (火) 「秋田県業界研究会」
令和 6 年 3 月 12 日 (火) ～ 13 日 (水) 「秋田県合同就職説明会」

②秋田県ふるさと定住機構主催事業

令和 5 年 7 月 1 日 (土) 「第 1 回あきたまるごと A ターンフェア」(東京会場)
令和 5 年 8 月 12 日 (土) 「第 2 回あきたまるごと A ターンフェア」(秋田会場)
令和 5 年 10 月 22 日 (日) 「第 3 回あきたまるごと A ターンフェア」(東京会場)
令和 5 年 12 月 30 日 (土) 「第 4 回あきたまるごと A ターンフェア」(秋田会場)
令和 6 年 2 月 3 日 (土) 「第 5 回あきたまるごと A ターンフェア」(東京会場)

③職業訓練受講者向け就職相談会

令和 5 年 7 月 11 日 (火) ケアコンプレックス潟上
令和 5 年 7 月 12 日 (水) ケアコンプレックス潟上
令和 5 年 10 月 2 日 (月) ニチイケアセンター大曲

3 福祉・介護・保育のしごとフェアの開催

第 1 回ふくしのしごと総合フェア in 秋田

期 日 令和 5 年 9 月 2 日 (土)
会 場 ホテルメトロポリタン秋田
参加者 31 名 (一般 25 名、学生 6 名)
法人数 30 法人
求人数 201 名
採用数 5 名
内 容 ・ 求人事業所との個別面談
・ 適性診断・カウンセリング：あきた就職活動支援センター
・ 福祉の仕事相談：秋田県福祉保健人材・研修センター
・ 来場者特典の配布

第 2 回ふくしのしごと総合フェア in 秋田

期 日 令和 6 年 3 月 2 日 (土)
会 場 ホテルメトロポリタン秋田
参加者 33 名 (一般 32 名、学生 1 名)
法人数 30 法人
求人数 197 名
採用数 1 名
内 容 ・ 求人事業所との個別面談
・ 適性診断・カウンセリング：あきた就職活動支援センター
・ 福祉の仕事相談：秋田県福祉保健人材・研修センター
・ 来場者特典の配布

4 無資格・未経験者の就労支援の実施

- (1) ハートフル雇用申込者 6名
 - ハートフル雇用就労者 2名（継続雇用）
 - ハートフル雇用中止 1名
 - ハートフル雇用辞退 3名

5 介護の入門的研修事業

(1) 介護入門セミナー

① 中央地区第1回

<1日コース>

期 日 令和5年7月13日（木）

会 場 秋田県社会福祉会館

受講者 3名

<5日コース>

期 日 令和5年7月13日（木）～14日（金）、19日（水）～20日（木）、25日（火）

会 場 秋田県社会福祉会館

受講者 11名

② 県北地区

<1日コース>

期 日 令和5年9月13日（水）

会 場 大館市北地区コミュニティーセンター（大館市）

受講者 3名

<5日コース>

期 日 令和5年9月13日（水）～14日（木）、21日（木）、28日（木）～29日（金）

会 場 大館市北地区コミュニティーセンター（大館市）

受講者 8名

③ 中央地区第2回

<1日コース>

期 日 令和5年10月10日（火）

会 場 秋田県社会福祉会館

受講者 7名

<5日コース>

期 日 令和5年10月10日（火）～11日（水）、17日（火）～18日（水）、25日（水）

会 場 秋田県社会福祉会館

受講者 7名

④ 県南地区

<1日コース>

期 日 令和5年11月7日（火）

会 場 横手市ふれあいセンターかまくら館（横手市）

受講者 5名

<5日コース>

期 日 令和5年11月7日（火）～8日（水）、10日（金）、16日（木）～17日（金）

会 場 横手市ふれあいセンターかまくら館（横手市）

受講者 11名

内 容（共通）

講義「介護に関する基礎知識」「介護の基本」「基本的な介護の方法」

講師 有限会社チョウセイ 介護の店こもれび 管理者 佐々木誠宏 氏

講義「認知症サポーター養成講座」

講師 八橋地域包括センター社協 認知症地域支援推進員 渡辺華恵 氏

八橋地域包括センター社協 看護師 林真紀 氏

講義「認知症の理解」「介護における安全確保」

講師 Akita Care Design Laboratory けあデザインラボ 綿貫哲 氏

講義「障害の理解」

講師 秋田県聴覚障害者支援センター 所長 加藤敦 氏

説明「職場体験等について」

秋田県社会福祉協議会 施設振興・人材・研修部 職員

6 介護福祉士等修学資金貸付事業

(1) 介護福祉士修学資金通常貸付

①平成30年度～令和4年度貸付決定件数 115件

令和5年度貸付額 24,750千円

②令和5年度新規貸付決定件数 8件

令和5年度貸付決定総額 11,680千円

令和5年度貸付額 5,840千円

(2) 介護福祉士修学資金早期貸付（入学前に入学準備金を貸付）

①令和6年度入学者新規貸付決定件数 12件

令和5年度貸付決定総額 21,220千円

令和5年度貸付額 2,400千円（入学準備金）

7 介護福祉士実務者研修受講資金貸付事業

貸付決定件数 91件

貸付決定総額 16,245千円

貸付額 16,045千円

※決定後辞退 1件(200千円)

8 離職介護人材再就職準備金貸付事業

貸付決定件数	15 件
貸付決定総額	5,400 千円
貸付額	5,400 千円

9 福祉系高校修学資金貸付事業

①過年度決定件数（継続）	2 件
令和 5 年度貸付額	340 千円
②令和 5 年度新規貸付決定件数	4 件
令和 5 年度貸付決定総額	1,320 千円
令和 5 年度貸付額	440 千円

10 介護分野就職支援金貸付事業

新規貸付決定件数	23 件
貸付決定総額	4,407 千円
貸付額	3,867 千円

11 障害福祉分野就職支援金貸付事業

新規貸付決定分	4 件
貸付決定総額	800 千円
貸付額	800 千円

12 離職介護福祉士等届出制度の普及

介護福祉士等の資格を有する者が離職した際に、福祉人材センターに住所、氏名等の届出を行う制度について、関係機関と連携して広く周知し、届出の勧奨を行うとともに、届出した者に対して、介護に関わる最新情報の提供や研修等のサポート、求人情報の提供等の支援を行った。

令和 5 年度末届出者数 368 名（うち令和 5 年度新規登録者数 59 名）

13 保育士修学資金貸付事業

(1) 修学資金

①過年度決定件数（継続）	92 件
・令和 5 年度貸付額	49,758 千円
②令和 5 年度新規貸付決定件数	83 件
・令和 5 年度貸付決定総額	90,942 千円
・令和 5 年度貸付額	46,914 千円

(2) 入学準備金

令和 5 年度新規貸付決定件数	69 件
・令和 5 年度貸付決定総額	12,119 千円

・令和5年度貸付額	12,119千円
(3)就職準備金	
①過年度決定件数	89件
・令和5年度貸付額	17,550千円
②令和5年度新規貸付決定件数	81件
・令和5年度貸付決定総額	15,870千円
・令和5年度貸付額	1,200千円

<事業項目2 福祉人材の定着促進と労働環境の改善支援>

1 専門アドバイザー派遣事業

社会保険労務士等の専門アドバイザーを介護保険施設等に派遣し、給与体系やキャリアパス体系の整備等の雇用管理改善について、相談・助言を行った。

[派遣状況]

社会保険労務士	3回
計	3回

2 理学療法士派遣事業

理学療法士を派遣し、身体的負担の少ない介護方法や腰痛予防対策の指導を行った。

[派遣状況]

派遣回数(回)	22回
参加事業所数(カ所)	22カ所

3 福祉・介護人材の確保・定着促進のための研修会の開催

(1)エルダー・メンター養成研修

①期 日 令和5年8月3日(木)

参加者 64名

②期 日 令和6年3月5日(火)

参加者 56名

内 容 (共通) 講義・ペアワーク

「エルダー・メンター制度が機能する社風作り」

「エルダー・メンター制度はこうすれば機能する」

講師 株式会社グッドコミュニケーション 代表取締役 中田康晴 氏

(2)福祉・介護事業所採用力アップセミナー

期 日 令和6年2月15日(木)

参加者 14名

内 容 講義・ワークショップ

「介護職の魅力ある伝え方・採用ターゲットに合わせた介護職求人作り」

「自法人の魅力の伝え方について」

講師 株式会社マイナビ メディカル事業本部

福祉介護メディア推進部 部長 神野達郎 氏

(3) 介護助手活用促進セミナー

期 日 令和 6 年 2 月 7 日 (水)

参加者 11 名

内 容 講義「三重県における介護助手導入の取組みについて」

講師 三重県老人保健施設協会 事務局長 小野昌宏 氏

(4) 新人介護従事者定着支援研修

①期 日 令和 5 年 11 月 27 日 (月)

参加者 18 名

②期 日 令和 6 年 1 月 22 日 (月)

参加者 31 名

内 容 (共通) 講義・ペアワーク

「介護職の魅力とキャリアアップ」

講師 株式会社グッドコミュニケーション 代表取締役 中田康晴 氏

4 秋田県福祉保健人材・研修センター運営委員会

期 日 令和 6 年 2 月 15 日 (木)

会 場 秋田県社会福祉会館

議 題 人材確保関連事業の実施状況について

研修事業の実施状況について

令和 6 年度に向けた事業実施計画案について

<事業項目 3 福祉の仕事への理解促進>

1 情報提供機能の強化

(1) 多様な広報媒体等の活用等による情報提供

福祉の仕事に対する理解促進及びイメージアップを図るため、様々な機会を通じて広報活動や情報提供を実施した。

①ホームページへの各種開催事業に関する情報の掲載

②COOL システムを活用した介護福祉士等届出者に対する情報発信

③求職登録者への郵送による求人情報の提供

④新聞（秋田魁新報ほか報道機関各社）、SNS 広告等による各種事業の周知・報道依頼

⑤「福祉のお仕事」（各都道府県人材センター共有ホームページ）による情報発信

⑥窓口相談時における情報提供

⑦ハローワークプラザアトリオンにおける出張相談

⑧福祉人材キャリア支援専門員の事業所訪問による情報提供

⑨関係機関主催相談会等における情報提供

⑩デジタルサイネージ広告の活用による周知

(2) 秋田県介護職応援 Web サイト（秋田県介護人材確保・定着促進事業）

介護分野への就労希望者や高校生・大学生等が今後の進路選択の参考とすることがで

きるよう、介護の仕事や介護の魅力に関する情報及び求人情報等を発信した。

①福祉の仕事の紹介、求人情報、資格取得等の情報提供（「福祉のお仕事」へのリンクの設定）

②介護の仕事に従事している施設職員からのメッセージ・動画の掲載

(3) 関係機関、高校・大学・短大等との情報交換、事業協力関係の強化

関係機関からの協力を得ながら各種事業を進めたほか、関係機関が主催する事業に積極的に協力するなど協力関係の強化に努めた。

また、県や労働局が開催する福祉人材の確保推進に向けた協議会への参画により、各機関が推進する事業に関する情報共有や連携強化に努めた。

<主な連携・参画の状況>

①県主催事業

（秋田県健康福祉部地域・家庭福祉課）

令和 5 年 9 月 6 日（水） 秋田県福祉人材確保推進協議会

（秋田県健康福祉部長寿社会課）

令和 5 年 6 月 27 日（火） 秋田県介護サービス事業所認証評価制度 制度説明会

令和 5 年 9 月 15 日（金） 秋田県介護サービス事業所認証評価制度導入促進セミナー

②介護労働安定センター主催事業

令和 5 年 10 月 25 日（水） 秋田介護労働懇談会・秋田県中央地域介護労働懇談会

③秋田労働局主催事業

令和 5 年 11 月 21 日（火） 秋田県介護施設＋S a f e 協議会

④ハローワークとの連携・協力

福祉人材センター・ハローワーク連携事業に係る求職者情報の共有 2 件

福祉求人データの情報共有 21 回

2 高校生福祉の進路ガイダンス

<県南地区>

期 日 令和 5 年 7 月 25 日（火）

会 場 秋田県南部老人福祉総合エリア（横手市）

参加者 16 名

内 容 概要説明「ふくしのお仕事について～つなぐ、つながる。ふくしとあなた。～」

秋田県社会福祉協議会 施設振興・人材・研修部 職員

講話「障がい者への差別について」

社会福祉法人雄勝なごみ会

湯沢市基幹相談支援センター 所長 長沼敏幸 氏

進路ガイダンス・個別相談（秋田看護福祉大学・日本赤十字秋田短期大学・聖
霊女子短期大学・湯沢翔北高校専攻科介護福祉科）

高齢者疑似体験

<県央地区>

期 日 令和 5 年 8 月 9 日 (水)

会 場 秋田県社会福祉会館 (秋田市)

参加者 7 名

内 容 概要説明「ふくしのお仕事について～つなぐ、つながる。ふくしとあなた。～」

秋田県社会福祉協議会 施設振興・人材・研修部 職員
福祉用具体験会

秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生きがい振興部 職員
進路ガイダンス・個別相談 (秋田看護福祉大学・日本赤十字秋田短期大学・聖
霊女子短期大学)

< 県北地区 >

※最小開催人数に満たなかったため中止

3 介護の職場体験事業

(1) 体験者数 (単位：名)

中学生	6
高校生	37
学生 (中学・高校生以外)	0
一般	12
合計	55

(2) 体験実施施設種別内訳 (単位：箇所)

特別養護老人ホーム	15
老人保健施設	4
ショートステイ	12
デイサービス	7
養護老人ホーム	2
グループホーム	8
小規模多機能	2
サ高住 (有料)	9
在宅複合型施設	1
計	60

※複数施設体験者あり

(3) ポスター・チラシの作成及び配布

①事業のPRと参加促進のためのチラシ・Instagram掲載データ作成

チラシ 7,000 部

②関係機関への配布

県・市町村教育委員会、中学校・高等学校・短期大学・大学、専門学校、介護福祉士実務者研修実施事業者、ハローワーク、公共施設等

(4) 小冊子の配布

介護の仕事と魅力を紹介する小冊子「介護の仕事ハンドブック」を 8,000 部印刷し、県内高等学校の 1 年生全員に配布するとともに、ホームページや SNS 等で広く周知するため Instagram 掲載データを作成した。

4 中学生の福祉の仕事セミナー

<横手市立十文字中学校>

期 日 令和 5 年 9 月 8 日 (金)

参加者 3 年生 17 名、教職員 3 名

内 容 講義「介護分野のお仕事セミナー」

講 師 デイサービスセンターシルバードームいきいきの郷 生活相談員 森元大 氏

<秋田市立山王中学校>

期 日 令和 5 年 12 月 14 日 (木)

参加者 3 年生 165 名、教職員 10 名

内 容 講義「介護の魅力-魅力とやりがいについて-」

講 師 特別養護老人ホームぬくもり山王 指導部長 川辺雄平 氏

特別養護老人ホームぬくもり山王 介護福祉士 伊藤沙恵 氏

<事業項目 4 福祉保健従事者研修の充実>

1 福祉保健従事者研修 <別表 1 参照>

(1) 行政職員研修 4 コース(4 回) (うち 1 回は職域別研修と合同実施)

(2) 段階別研修 11 コース(19 回)

① 新任研修 1 コース(3 回)

② 中堅研修 1 コース(3 回)

③ 指導的従事者研修 1 コース(4 回)

④ 管理者研修 1 コース(2 回)

⑤ 職域別研修 7 コース(7 回)

(3) 特別研修 2 コース(2 回)

2 自主企画研修 <別表 2 参照>

(1) 従事者向け研修 15 コース(20 回)

3 認知症介護研修 (自主企画研修)

(1) 認知症介護研修 5 コース(7 回) <別表 2 参照>

(2) 認知症介護研修カリキュラム検討委員会

第 1 回 令和 5 年 10 月 3 日 出席者 25 名

第 2 回 令和 6 年 2 月 16 日 出席者 19 名

4 介護施設等看護実務者研修事業

第 1 回 期 日 令和 5 年 9 月 27 日 (水)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 50 名

- 内 容 講義「認知症高齢者の理解と看護・せん妄と認知症の違い・認知症の人の理解とケア」
「利用者の尊厳ある生活を支える看護・看取り期の特徴と状態・家族支援（意向尊重、理解促進）」
- 講 師 社会福祉法人愛染会 介護老人保健施設あいぜん苑
ケア統括部長 認知症看護認定看護師 安田智代 氏
- 第2回 期 日 令和5年10月25日（水）
会 場 秋田県社会福祉会館
参加者 40名
内 容 講義「援助職のためのセルフケア・ストレス対処法を学ぶ・心の燃えつきを予防できる方法・コミュニケーション技術を磨く」
講 師 秋田大学大学院 医学系研究科保健学専攻 教授 米山奈奈子 氏
- 第3回 期 日 令和5年12月4日（月）
会 場 秋田県社会福祉会館
参加者 34名
内 容 講義「高齢者虐待防止のための取組・高齢者虐待防止法について（基本編）」
講 師 社会福祉法人いずみ会 ケアハウススプリングヒル 施設長 保泉拓 氏
- 第4回 期 日 令和5年12月5日（火）
会 場 秋田県社会福祉会館
参加者 34名
内 容 講義「高齢者虐待防止のための取組・高齢者虐待防止法について（応用編・事例）」
講 師 社会福祉法人秋田市社会福祉協議会
川元地域包括支援センター社協 管理者 保坂絵美子 氏

5 訪問介護員の人材養成における基本研修事業

(1) 訪問介護員の人材養成における基本研修事業

- 第1回 期 日 令和5年10月12日（木）～13日（金）
会 場 秋田県社会福祉会館
参加者 22名
内 容 講義・演習「食べるから始まる自立支援を考える」
「摂食・嚥下を知ろう～食べる事を支える為に～」
講 師 秋田県自立支援介護予防普及アドバイザー 湊洋太 氏
森岳温泉病院 言語聴覚士 小川恵 氏
調理実習 「訪問介護員が知って得する～目で楽しみ、時短で美味しい調理法のあれこれ～」（実技）
講 師 医療法人社団静実会 ないとうクリニック
在宅訪問管理栄養士 介護食アドバイザー 伊藤清世 氏

第2回 期 日 令和5年11月13日(月)～14日(火)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 20名

内 容 講義・演習「食べるから始まる自立支援を考える」

「摂食・嚥下を知ろう～食べる事を支える為に～」

講師 秋田県自立支援介護予防普及アドバイザー 湊洋太氏

森岳温泉病院 言語聴覚士 小川恵氏

調理実習 「訪問介護員が知って得する～嚥下調整食の基本と、硬い食材を食べやすいやわらかさにする方法～」(実技)

講師 株式会社フードケア 介護シェフ 在川一平氏

(2) サービス提供責任者初任者研修

期 間 令和5年8月2日(水)、3日(木)、4日(金)

会 場 秋田県生涯学習センター

参加者 87名

内 容 講義1「地域包括システムにおける自立支援専門職の役割」他

秋田県自立支援介護予防普及アドバイザー ジョーンズ佳子氏

講義2「介護保険制度について」他

株式会社グッドラックプロデュース ケアマネ処グット楽

主任介護支援専門員 菅原のぞみ氏

講義3「訪問介護サービスの基本視点と制度・政策の全体像の理解」他

日本ホームヘルパー協会 名誉会長 因利恵氏

講義4「医療に関する知識」「認知症に関する知識」「感染症対策」

NPO法人ホームホスピス秋田 理事長 中村順子氏

6 介護職員等によるたんの吸引等研修事業

(1) 喀痰吸引等指導者養成

① 第一号及び第二号研修(不特定多数の者対象)

期 日 令和5年6月7日(水)～8日(木)

会 場 秋田県中央地区老人福祉総合エリア

受講者 27名

② 第三号研修(特定の者対象)

期 日 令和5年5月26日(金)

会 場 秋田県中央地区老人福祉総合エリア

受講者 7名

(2) 介護職員等によるたん吸引等研修(不特定多数の者対象)の実施

① 基本研修(講義・筆記試験)

基本研修(講義)	筆記試験	講義・試験会場	実地研修
----------	------	---------	------

6月16日(金)～ 7月12日(水) (8日間)	7月13日(木) 26名受験 24名合格	秋田県中央地区 老人福祉総合エ リア	各実地研修施設に おいて実施
50時間の講義+救急蘇 生法演習 26名受講	再試験 7月24日(月) 2名受験 2名合格	秋田県社会福祉 会館	修了者1名

②基本研修(演習)

基本研修(演習)	会場
①9月6日(水)～7日(木) 9月13日(水)～15日(金)	秋田県中央地区老人福祉総合エリア
②9月27日(水)～28日(木) 10月3日(火)～5日(木)	
③10月12日(木)～13日(金) 10月17日(火)～19日(木)	
5行為5日間の演習	
25名受講、25名合格	

(3)介護職員等によるたん吸引等研修(特定の者対象)の開催

①基本研修

期日 令和5年7月25日(火)～26日(水)
会場 秋田県中央地区老人福祉総合エリア
受講者 13名

②筆記試験

期日 令和5年7月26日(水)※再試験:令和5年8月4日(金)
受講者 13名、合格者13名

③実地研修

実地研修協力者(利用者)の所在する場所(居宅及び施設等)で指導看護師の指導のもと、実施した。

(4)手技確認講習の実施

①一部履修免除者に対する手技確認講習の開催

受講者 55名、合格者46名(合格率84%)

開催日	受講者	合格者	不合格者
令和5年5月31日(水)	4名	2名	2名
令和5年8月2日(水)～3日(木)	21名	17名	4名
令和5年11月8日(水)～9日(木)	17名	15名	3名
令和6年1月24日(水)～25日(木)	13名	12名	1名

②認定証取得済介護職員等に対するフォローアップ研修の開催

開催日	受講者
令和5年5月24日(水)	0名
令和5年9月21日(木)	4名

(5)実地研修事業の実施(不特定の者対象)

①実地研修履修者の賠償責任保険の加入管理

演習修了者の実地研修に際し、保険加入手続きを行ったほか、必要に応じ実地研修未修了者の保険再加入手続きを行った(146名)。

②実地研修施設との連絡調整等

実地研修施設として75施設と委託契約を締結し、研修施設としての体制整備や研修の具体的な進め方（評価方法等）、指導看護師との連絡調整、研修に関する相談支援を行った。

- ③実地研修修了者に対する修了証明書の交付（手技確認講習受講者含む）
〔交付実績〕 (単位：名)

	H24 ～26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	合計
一 ・ 二 号	0	1	2 (1)	3	1	4	6 (1)	23	43 (1)	8	91 (3)

※令和5年4月1日から令和6年3月末までに交付した修了証明書発行延人数

※（ ）は第一号研修課程修了者数

- (6)実地研修事業の実施（特定の者対象）

- ①実地研修履修者の賠償責任保険の加入管理

基本研修修了者の保険加入手続きを行ったほか、特定の者（受講者56名：利用者56名）の保険加入・更新手続きを行った。

- ②実地研修施設との連絡調整等

実地研修施設として2施設と委託契約を締結し、研修施設としての体制整備や研修の具体的な進め方（評価方法等）、研修に関する相談支援を必要に応じて行った。

- ③実地研修修了者に対する修了証明書の交付

介護職員等によるたんの吸引等研修（特定）指導者養成修了者及び研修修了者に証明書を交付した。

（令和6年3月末現在修了証交付数）

指導者講習修了者	7名		
研修修了者	全課程	2名	30名
	実地研修のみ	28名	

- (7)研修実施委員会の設置及び委員会の開催

- ①研修実施委員会の開催

期 日 令和6年2月14日(水)

会 場 秋田県社会福祉会館

内 容 令和5年度進捗状況について

令和6年度研修計画について

試験判定部会の継続について

- ②試験判定部会の開催

令和5年4月14日(金)

令和5年6月2日(金)

令和5年8月4日(金)

令和5年10月20日(金)

令和5年12月1日(金)

令和6年1月26日(金)

令和6年3月5日(火)

- (8)登録・管理業務

- ①登録特定行為事業者登録申請 8施設
②認定特定行為業務従事者認定証申請 186名
③原本証明願申請 18名
④認定特定行為業務従事者認定証変更申請 3名
⑤認定特定行為業務従事者認定証再交付申請 3名

- ⑥喀痰吸引等研修における実地研修施設登録
⑦要録喀痰吸引等事業者(登録特定行為事業者)変更登録

12施設
随時

7 介護支援専門員養成事業

(1) 介護支援専門員実務研修受講試験

期 日 令和 5 年 10 月 8 日 (日)
会 場 秋田大学手形キャンパス (秋田市)
受験申込者 616 名
受験者 568 名
合格者 80 名 (合格率 14.1%)

(2) 介護支援専門員実務研修

〈前期研修〉

期 日 令和 5 年 12 月 21 日 (木) ~ 22 日 (金)、25 日 (月) ~ 26 日 (火)、
令和 6 年 1 月 9 日 (火) ~ 13 日 (土)
会 場 秋田県社会福祉会館 (オンライン併用)
受 講 者 79 名

〈後期研修〉

期 日 令和 6 年 2 月 27 日 (火) ~ 29 日 (木)、3 月 12 日 (火) ~ 15 日 (金)
会 場 秋田県社会福祉会館 (オンライン併用)
受 講 者 80 名 修了者 78 名

推進項目 2 福祉サービスの質の向上と社会福祉経営基盤の強化

<事業項目 1 質の高い福祉サービス提供の促進>

1 運営適正化委員会事業

(1) 運営適正化委員会 (オンライン併用)

期 日 令和 5 年 4 月 11 日 (火)
内 容 令和 4 年度秋田県運営適正化委員会事業報告について
令和 5 年度秋田県運営適正化委員会事業計画について
出席者 委員 8 名 県担当者 2 名

(2) 運営監視小委員会 (オンライン併用)

第 1 回 期 日 令和 5 年 7 月 11 日 (火)
内 容 令和 4 年度日常生活自立支援事業の実施状況及び令和 5 年度の事業
運営について
日常生活自立支援事業の実施に関する要望について (回答)
現地調査未実施の社会福祉協議会からの日常生活自立支援事業の状
況報告について (小坂社協、美郷町社協)
出席者 委員 6 名、県担当者 1 名、専門員 2 名
第 2 回 期 日 令和 6 年 1 月 9 日 (火)

内 容 現地調査未実施の社会福祉協議会からの日常生活自立支援事業の状況報告について（八峰町社協、大仙市社協、北秋田市社協）
現地調査の報告について

出席者 委員 5 名、県担当者 1 名、専門員 3 名

第 3 回 期 日 令和 6 年 3 月 12 日（火）

内 容 現地調査未実施の社会福祉協議会からの日常生活自立支援事業の状況報告について（由利本荘市社協、鹿角市社協、能代市社協）
令和 5 年度の現地調査結果による県社協への要望について（案）
次年度の事業予定について

出席者 委員 5 名、専門員 3 名

(3) 苦情解決小委員会（オンライン併用）

第 1 回 期 日 令和 5 年 5 月 9 日（火）

内 容 苦情相談（3 月～4 月分）の報告について

出席者 委員 5 名

第 2 回 期 日 令和 5 年 7 月 11 日（火）

内 容 苦情相談（5 月～6 月分）の報告について

出席者 委員 6 名

第 3 回 期 日 令和 5 年 9 月 12 日（火）

内 容 苦情相談（7 月～8 月分）の報告について

出席者 委員 5 名

第 4 回 期 日 令和 5 年 11 月 14 日（火）

内 容 苦情相談（9 月～10 月分）の報告について
令和 5 年度巡回訪問（案）について
令和 5 年度苦情解決研修会（案）について

出席者 委員 6 名、県担当者 1 名

第 5 回 期 日 令和 6 年 1 月 9 日（火）

内 容 苦情相談（11 月～12 月分）の報告について
令和 5 年度の巡回訪問の結果報告について
令和 5 年度苦情解決研修会の結果報告について

出席者 委員 4 名、県担当者 1 名

第 6 回 期 日 令和 6 年 3 月 12 日（火）

内 容 苦情相談（1 月～2 月分）の報告について
次年度の事業予定について

出席者 委員 6 名

(4) 現地調査等による運営監視の実施

運営監視小委員会を年 3 回開催し、福祉サービス利用援助事業を実施している市町村社協 6 ヶ所における事業の実施状況や金銭の管理、生活支援の状況について現地調査を行い、改善を要する事項等について助言した。

また、市町村社協 8 ヶ所の専門員から取組状況の報告を受けた。

①運営監視小委員会：現地調査

期 日	訪 問 先	訪問委員等
令和5年7月12日(水)	大館市社会福祉協議会 福祉生活サポートセンター	運営監視小委員会委員 1名 事務局 1名
令和5年7月13日(木)	藤里町社会福祉協議会 福祉生活サポートセンター	運営監視小委員会委員 1名 事務局 2名
令和5年7月14日(金)	横手市社会福祉協議会 福祉生活サポートセンター	運営監視小委員会委員 1名 事務局 2名
令和5年7月18日(火)	湯沢市社会福祉協議会 福祉生活サポートセンター	運営監視小委員会委員 1名 事務局 1名
令和5年7月19日(水)	八郎潟町社会福祉協議会 福祉生活サポートセンター	運営監視小委員会委員 1名 事務局 1名
令和5年7月20日(木)	三種町社会福祉協議会 福祉生活サポートセンター	事務局 1名

②運営監視小委員会における専門員からの実施状況聞き取り（再掲）

対象 小坂町、美郷町、八峰町、大仙市、北秋田市、由利本荘市、鹿角市、能代市の
社会福祉協議会

(5)巡回訪問

社会福祉事業者における苦情が適切に解決されるよう、委員が事業所を訪問して苦情
解決体制の整備状況や苦情解決相談の状況について調査し、必要な助言を行った。

事業区分	施 設 名	訪 問 日
高齢者福祉施設	特別養護老人ホーム花館	令和5年10月23日(月)
	本道の街ショートステイセンター	令和5年11月6日(月)
	ホームホスピス秋田訪問看護ステーション	令和5年11月16日(木)
障害者福祉施設	潟上天王つくし苑	令和5年10月25日(水)
	比内ヒルズ・ふもとの家	令和5年11月13日(月)
児童施設	えみの森	令和5年12月5日(火)

(6)苦情解決研修会

事業所の苦情受付担当者及び解決責任者を対象に、事例や演習を通じ、事業所における
クレームへの対応のスキルアップを図ることを目的として実施した。

第1回苦情解決研修会

期 日 令和5年11月29日(水)

会 場 オンライン

参加者 95名

内 容 講義・演習「クレーム対応について(初級編)」

ブレイクステート代表 吉田こうじ氏

第2回苦情解決研修会

期 日 令和6年2月1日(木)

会 場 オンライン

参加者 75名

内 容 講義・演習「クレーム対応について(上級編)」

ブレイクステート代表 吉田こうじ氏

(7) 広報・啓発活動の促進

事業報告書の本会ホームページへの掲載、苦情解決に関する事業者用掲示ポスター及びパンフレットの作成と関係機関への配布、市町村広報への掲載依頼を通して、広報・啓発活動を行った。

(8) 苦情解決事業の状況

福祉サービスの利用者及び家族等からの苦情や相談を電話・来所・FAX・メール等で受け付け、助言や他機関の紹介により解決を図ったほか、必要に応じ電話による状況把握を行い解決に結びつけた。(単位：件)

受付方法	苦情	相談
来所	2	1
書面・電話等	17	21
合計	19	13
	32	

2 福祉サービス第三者評価

(1) 福祉サービス第三者評価

福祉サービスの質の向上のため、福祉サービス第三者評価機関として7施設の評価を実施した。

- 養護老人ホーム和光園（養護老人ホーム）
- 障害者支援センター御所野（施設入所支援）
- 能代松原ホーム（母子生活支援施設）
- あすなろ（施設入所支援）
- 更望園（施設入所支援）
- 県南愛児園ドリームハウス（児童養護施設）
- 秋田わかばハイム（母子生活支援施設）
- 秋田赤十字乳児院（乳児院）

(2) 調査者の確保・育成

①秋田県福祉サービス第三者評価調査者フォローアップ研修

修了者 12名

②調査者打合せ会

期 日 令和5年7月3日（月）

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 10名

内 容 第三者評価事業について

調査者の役割・調査の進め方について 他

3 介護サービス情報の公表事業

(1) 介護サービス事業所の調査及び介護サービス情報の公表に関する計画の策定

公表対象事業所が報告する介護サービス情報の受理・調査・公表の事務を適正に実施するため、報告計画、調査計画及び公表計画を定めた。

・公表計画件数 1,947 件

(報告のみの計画件数 1,245 件、報告及び調査の計画件数 702 件)

(2) 介護サービス情報の公表

公表計画に沿って対象事業所から報告された情報について、確認の上受理し公表した。

・公表件数 1,954 件 (うち調査員が事業所訪問した調査件数 683 件)

(3) 調査員フォローアップ研修

期 日 令和 5 年 8 月 24 日 (木)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 24 名

(4) 調査員養成研修

期 日 令和 5 年 10 月 17 日 (火)、18 日 (水)、25 日 (水)、26 日 (木)

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 11 名 (未修科目受講者 1 名含む)

(5) 介護サービス情報公表手数料の徴収

秋田県介護サービス情報指定情報公表センターとして、対象事業所からの手数料徴収事務を実施した。

<事業項目 2 福祉事業者の経営・組織強化への支援>

1 経営相談・指導と研修の実施

(1) 相談指導の実施

常勤指導員 1 名 (専任 1 名) 及び非常勤指導員 9 名 (弁護士 3 名、公認会計士 3 名、社会保険労務士 3 名) を配置し、相談指導を実施した。

① 一般相談 (月～金)

相談件数 22 件

② 専門相談 (法律、会計税務、社会保険労務相談)

相談件数 41 件

ア 施設種別別の相談状況

(単位：件)

相談方法		施設種別					小計	合計
		障害施設	児童施設	老人施設	その他	法人本部		
訪問相談	常勤指導員			1			1	8
	非常勤指導員	4		3			7	
来所相談	常勤指導員					3	3	13
	非常勤指導員		2	5	1	2	10	
電話文書	常勤指導員	1		2		15	18	42
	非常勤指導員	2		5	3	14	24	
小計	常勤指導員	1		3		18	22	63

	非常勤指導員	6	2	13	4	16	41	
合 計		7	2	16	4	34	63	

イ 相談事項別の内容件数

(単位：件)

相談方法 相談内容	訪問相談		来所相談		電話文書		小計		合計
	常勤指導員	非常勤指導員	常勤指導員	非常勤指導員	常勤指導員	非常勤指導員	常勤指導員	非常勤指導員	
①施設経営一般	1	1	1	2	11	1	13	4	17
②会計税務				2		15		17	17
③入所者処遇		1	1	2	2	1	3	4	7
④職員待遇		1				1			2
⑤安全防災				1		2		3	3
⑥衛生管理									
⑦施設整備									
⑧人材確保対策				1				1	1
⑨労使問題		4	1				1	4	5
⑩預り金									
⑪地域交流									
⑫その他			1	2	4	4	5	6	11
小 計	1	7	3	10	18	24	22	41	63
合 計		8		13		42		63	

(2) 広報活動・情報の提供

①専門相談日・担当者に関する情報の提供

随時相談を受付けていることを必要に応じ、ホームページやメールマガジンにより情報提供した。

②社会福祉制度に関する情報の提供

厚生労働省及び全国社会福祉法人経営者協議会、全社協関係資料を中心に、必要に応じて情報を提供した。

(3) 法人・役員等研修会の開催（経営協と共催）

①秋田県経営協前期セミナー

期 日 令和 5 年 9 月 11 日（月）

会 場 秋田キャッスルホテル

参加者 66 名

内 容 講義「どこもかしこも人がいなくなる！どうする社福」

動画「新体制発足！これからの全国青年会が目指すこと」

説明「物価高騰・報酬改定を乗り越え、持続可能な経営を支えるために～

②災害合同説明会

期 日 令和 5 年 10 月 12 日（木）

会 場 秋田パークホテル

- 参加者 13名
内 容 ・秋田県健康福祉部長寿社会課から災害支援についての説明
・秋田市担当課から災害支援についての説明
・全国社会福祉法人経営者協議会事務局より災害見舞金についての説明

③社会福祉法人理事長セミナー

- 期 日 令和5年11月28日(火)
会 場 秋田パークホテル
参加者 59名
内 容 講演「国の動向と全国経営協の取組み、理事長の役割について」
講 師 全国社会福祉法人経営者協議会 会長 磯彰格氏

③ 秋田県経営協後期セミナー

- 期 日 令和6年2月9日(金)
会 場 秋田県社会福社会館
参加者 82名
内 容 講義「どうする報酬改定とこども未来戦略」
講義「まずは経営協ドック診断を！」
動画「全国青年会入会促進PR」
説明「こうなる処遇改善」

④ 地域における公益的な取組推進セミナー

- 期 日 令和6年2月20日(火)
会 場 秋田県社会福社会館
参加者 46名
内 容 講義「社会福祉法人における【地域における公益的な取組の意義】」
「社会福祉法人の責務とこれからのフクシ【地域における公益的な取組の意義】」

2 地域における公益的な取組の促進（再掲）

(1)秋田県地域公益活動事業推進委員会

- 期 日 令和5年11月7日(火)
会 場 秋田県社会福社会館
内 容 今後の事業の在り方について

(2)地域における公益的な取組推進セミナー（再掲）

- 期 日 令和6年2月20日(火)
会 場 秋田県社会福社会館
参加者 46名
内 容 講義「社会福祉法人における【地域における公益的な取組の意義】」
「社会福祉法人の責務とこれからのフクシ【地域における公益的な取組の意義】」

3 種別協議会・団体への支援

各種種別協議会の運営についてサポートを行うとともに、研修会の開催等により会員事業所職員の資質向上を図った。

- (1) 秋田県社会福祉法人経営者協議会
- (2) 秋田県老人福祉施設協議会
- (3) 秋田県母子福祉協議会
- (4) 秋田県社会就労センター協議会
- (5) 秋田県民生児童委員協議会
- (6) 秋田県ホームヘルパー協議会
- (7) 秋田県ボランティア団体連絡協議会
- (8) 秋田県地域包括・在宅介護支援センター協議会
- (9) 秋田県介護支援専門員協会
- (10) 市町村社会福祉協議会連絡協議会
- (11) 秋田県知的障害者福祉協会
- (12) 秋田県知的障害児者生活サポート協会
- (13) 秋田県障害福祉団体協議会

4 緊急時の応援に係るコーディネート機能確保

(1) 登録状況（令和5年3月31日現在） （単位：名）

応援可能業務	人 数								
	大館 鹿角	北秋田	能代 山本	秋田 周辺	由利本荘 にかほ	大仙 仙北	横手	湯沢 雄勝	合計
高齢（介護）・ 障害（支援員）	2	16	0	15	0	2	10	1	46
高齢（介護）	10	33	21	108	16	58	18	10	274
障害（支援員）	7	11	22	19	9	14	1	13	96
看護	1	2	6	18	1	13	4	1	46
調理	0	3	3	5	0	2	2	3	18
その他 （事務、運転手等）	0	2	3	21	3	12	0	2	43
合 計	20	67	55	186	29	101	35	30	523

(2) 圏域別利用者受け入れ態勢（令和5年3月31日現在） （単位：カ所）

態勢	施 設 数								
	大館 鹿角	北秋田	能代 山本	秋田 周辺	由利本荘 にかほ	大仙 仙北	横手	湯沢 雄勝	合計
受け入れ可能	1	2	3	9	1	3	1	3	23
条件によっては 受け入れ可能	11	10	10	24	11	9	12	8	95
受け入れ不可能	2	14	6	34	1	19	7	2	85
合 計	14	26	19	67	13	31	20	13	203

(3)派遣実績 なし

(4)調整不調件数 4件

陽性者への派遣依頼のため派遣不可（1件）

施設内で陽性者が点在しゾーニングができない（1件）

派遣職員の調整ができない（1件）

事業照会（1件）

福祉保健従事者研修（秋田県福祉保健人材・研修センター委託研修事業）実施状況

（別表1）

区分	研修名（コース・回数）	令和5年度						令和4年度					
		実施日	日数	受講定員	申込者数	実人数	延人数	実施日	日数	受講定員	申込者数	実人数	延人数
行政	1. 新任生活保護担当職員基礎研修	5/29-30	2	30	60	30	60	6/28-29	2	30	32	32	64
	2. 新任査察指導員基礎研修	6/27-28	2	10	20	8	16	7/12-13	2	10	7	6	12
	3. 課題別研修（生活困窮者支援）	7/27	1	15	15	9	9	7/27	1	15	2	2	2
	4. 地域福祉推進研修（職域研修と合同実施）	8/1-2	2	50	100	32	64	8/8-9	2	50	34	32	64
	計 4コース 4回		7	105	195	79	149		7	105	75	72	142
新任	5. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程												
	初任者コース（第1回）	8/29-30	2	100	200	46	92	7/14-15	2	80	51	52	104
	初任者コース（第2回）	10/17-18	2	100	200	40	80	2/9-10	2	80	65	51	102
	初任者コース（第3回）	11/7-8	2	100	200	27	54	11/29-30	2	80	38	31	62
計 1コース 3回		6	300	600	113	226		6	240	154	134	268	
中堅	6. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程												
	中堅職員コース（第1回）	7/11-12	2	80	160	58	116	2/14-15	2	80	51	47	94
	中堅職員コース（第2回）	10/19-20	2	80	160	68	136	10/20-21	2	80	72	72	144
	中堅職員コース（第3回）	11/9-10	2	80	160	59	118	11/21-22	2	80	53	35	70
計 1コース 3回		6	240	480	185	370		6	240	176	154	308	
指導的従事者	7. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程												
	チームリーダーコース（第1回）	6/20-21	2	70	35	32	64	7/21-22	2	60	50	46	92
	チームリーダーコース（第2回）	8/31-9/1	2	70	140	69	138	9/26-27	2	60	60	57	114
	チームリーダーコース（第3回）	12/11-12	2	70	140	62	124	10/17-18	2	60	66	64	128
	チームリーダーコース（第4回）	2/29-3/1	2	70	140	24	48	3/1-2	2	60	38	34	68
計 1コース 4回		8	280	455	187	374		8	240	214	201	402	
管理者	8. 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程												
	管理職員コース（第1回）	7/25-26	2	70	140	28	56	7/25-26	2	50	31	31	62
	管理職員コース（第2回）	11/16-17	2	70	140	37	74	11/17-18	2	50	56	48	96
計 1コース 2回		4	140	280	65	130		4	100	87	79	158	
職域別	9. 研修担当職員研修	10/5-6	2	80	160	47	94	11/10-11	2	70	46	43	86
	10. 地域福祉推進研修（行政研修と合同実施）	8/1-2	2	50	100	32	64	8/8-9	2	50	34	32	64
	11. 施設等相談援助職員研修	11/29-30	2	80	160	42	84	1/10-11	2	70	29	29	58
	12. 保育施設保育士研修	2/6、3/14	2	60	60	29	29	8/18-19	2	50	12	10	20
	13. 福祉保健施設・事業者等看護職員研修	11/6	1	100	100	53	53	9/13	1	70	70	58	58
	14. 福祉保健施設・事業者等事務職員研修	9/26	1	100	100	65	65	11/25	1	70	36	33	33
	15. 施設給食担当職員研修	8/22	1	100	100	28	28	10/4	1	70	57	56	56
	計 7コース 7回		11	570	780	296	417		11	450	284	261	375
計 2コース 2回	16. 課題別研修Ⅰ（コーチング研修）	12/6-7	2	100	200	70	140	12/7-8	2	70	75	65	130
	17. 課題別研修Ⅱ（福祉実践inあきた）	12/19	1	100	100	45	45	1/31	1	100	35	34	34
	計 2コース 2回		3	200	300	115	185		3	170	110	99	164
計 17コース 25回		45	1,835	3,090	1,040	1,851		45	1,545	1,100	1,000	1,817	

自主企画研修事業等実施状況

(別表2)

区分	研修名(コース・回数)	令和5年度					令和4年度				
		実施日	日数	受講定員	申込者数	受講者実人数	実施日	日数	受講定員	申込者数	受講者実人数
従事者向け研修	1 調理技術研修(3回)	6/7	1	30	31	31	6/21	1	30	31	31
		10/11	1	30	30	28	11/1	1	30	31	30
		11/15	1	30	33	32	12/1	1	30	21	17
	2 介護記録の理解と実践(2回)	7/13	1	80	65	62	7/5	1	80	72	70
		10/26	1	80	64	61	11/2	1	80	74	70
	3 クレーム対応研修	8/10	1	80	100	94	11/28	1	80	102	83
	4 メンタルヘルス研修	10/31	1	80	84	76	9/12	1	80	74	61
	5 法人役員・施設長研修 ※オンライン	9/13	1	80	46	45	11/15	1	80	37	32
	6 リスクマネジメント研修	12/1	1	80	113	94	12/9	1	80	89	80
	7 怒りのマネジメント研修	6/23	1	80	98	91	6/16	1	80	86	84
	8 OJTリーダー研修 ※オンライン	11/2	1	90	81	77	10/14	1	80	98	94
	9 コミュニケーション向上研修	6/22	1	80	84	81	6/15	1	80	79	75
	10 説明力強化研修	8/18	1	80	95	88	9/15	1	80	62	53
	11 ビジネスマナー向上研修	6/6	1	80	55	52	5/26	1	80	72	69
	12 タイムマネジメント研修	7/14	1	80	77	74	7/20	1	80	75	72
13 給与事務担当者研修 ※オンライン	6/1	1	100	58	55	-	-	-	-	-	
14 虐待・ハラスメント防止研修	9/8	1	80	125	116	-	-	-	-	-	
15 認知症介護基礎研修(3回)	7/6	1	80	135	118	7/6	1	80	93	90	
	12-13	1	80	133	111	10/19	1	80	93	86	
	3/7	1	80	184	131	12/13	1	80	97	85	
	-	-	-	-	-	3/7	1	80	95	89	
計 15コース(20回)			20	1,480	1,691	1,386		19	1,370	1,381	1,271
認知症介護研修	1 認知症介護実践者研修(2回)	5/25-8/9	8	80	102	80	5/30-8/2	8	80	96	80
		8/24-11/22	8	80	93	78	1/17-3/24	8	80	116	71
	2 認知症介護実践リーダー研修	9/27-12/8	11	40	41	38	9/20-12/2	11	40	34	33
	3 認知症対応型サービス事業管理者研修(2回)	10/24-25	2	30	32	28	10/24-25	2	30	29	29
		3/5-6	2	30	24	23	3/14-15	2	30	14	14
	4 認知症対応型サービス事業開設者研修	5/17	1	30	9	8	5/18	1	30	8	8
	5 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	1/24-25	2	30	16	15	1/24-25	2	30	12	12
計5コース(7回)			34	320	317	270		34	320	309	247
計 20コース(27回)			54	1,800	2,008	1,656		53	1,690	1,690	1,518

《基本方針 3 組織・経営基盤の強化》

推進項目 1 法人経営の基盤強化と財源の確保

＜事業項目 1 会務の運営と事業評価による適正な法人運営の推進＞

1 役員会の開催

(1) 正副会長会議

回	期 日	主 な 議 題
1	令和 5 年 5 月 24 日 (水)	・理事会への提出議案等について
2	令和 5 年 6 月 20 日 (火)	・副会長の順位指名について
3	令和 5 年 7 月 13 日 (木)	・理事会への提出議案等について
4	令和 5 年 8 月 29 日 (火)	・秋田県社会福祉大会について ・秋田県社会福祉協議会会長表彰について
5	令和 6 年 3 月 4 日 (月)	・理事会への提出議案等について

(2) 理事会

回	期 日	主 な 議 題
1	令和 5 年 5 月 31 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度事業報告 (案) について ・令和 4 年度一般会計収支決算 (案) 及び令和 4 年度生活福祉資金会計収支決算 (案) について ・経理規程の一部改正について ・令和 5 年度生活福祉資金会計補正予算 (案) について ・役員報酬等に関する規程の一部改正について ・事務局職員就業規則等の一部改正について ・役員選任の提案について ・評議員の選任に係る同意について ・令和 5 年度第 1 回評議員会 (定時評議員会) の招集について
2	令和 5 年 6 月 20 日 (火)	・会長、副会長及び常務理事の選定について
3	令和 5 年 7 月 27 日 (木) ※書面決議	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員選任・解任委員の選任について ・役員選任の提案について ・評議員候補者の選任に係る同意について ・令和 5 年度第 2 回評議員会の招集について
4	令和 6 年 3 月 12 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員給与規程の一部改正について ・継続雇用職員の就業等に関する規程の一部改正について

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 役員の報酬等に関する規程の一部改正について ・ 経理規程の一部改正について ・ 事務局職員就業規則の一部改正について ・ 非常勤嘱託職員の就業に関する規程の一部改正について ・ 災害支援活動基金運営規程の制定について ・ 第6期秋田県地域福祉活動計画の策定について ・ 令和5年度一般会計補正予算（案）及び令和5年度生活福祉資金会計第2次補正予算（案）について ・ 令和6年度事業計画（案）について ・ 令和6年度一般会計予算（案）及び令和6年度生活福祉資金会計予算（案）について ・ 理事の選任の提案について ・ 評議員候補者の選任に係る同意について ・ 役員等賠償責任保険契約の締結について ・ 令和5年度第3回評議員会の招集について
--	--	---

(3) 監事会

回	期 日	主 な 議 題
1	令和5年5月19日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度事業報告（案）について ・ 令和4年度一般会計収支決算（案）及び令和4年度生活福祉資金会計収支決算（案）について
2	令和5年11月27日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度上期事業実施状況について ・ 令和5年度一般会計及び令和5年度生活福祉資金会計上期決算について

(4) 評議員選任・解任委員会

回	期 日	主 な 議 題
1	令和5年8月5日（土） ※決議があったとみなされた日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評議員の選任について（書面による決議の省略）
2	令和6年3月14日（木） ※決議があったとみなされた日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評議員の選任について（書面による決議の省略）

2 評議員会の開催

回	期 日	主 な 議 題
1	令和5年6月16日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度事業報告（案）について ・ 令和4年度一般会計収支決算（案）及び令和4年度生活福祉資金会計収支決算（案）について ・ 令和5年度生活福祉資金会計補正予算（案）について ・ 役員の選任について

2	令和 5 年 8 月 9 日 (水) ※オンライン併用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役員の報酬等に関する規程の改正について ・ 役員の選任について
3	令和 6 年 3 月 25 日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 5 年度一般会計補正予算 (案) 及び令和 5 年度生活福祉資金会計第 2 次補正予算 (案) について ・ 令和 6 年度事業計画 (案) について ・ 令和 6 年度一般会計予算 (案) 及び令和 6 年度生活福祉資金会計予算 (案) について ・ 役員の報酬等に関する規程の一部改正について ・ 理事の選任について

3 事業評価の推進

事業(業務)管理シートを基に重点事業の到達目標や達成度等を組織全体で確認・共有し、事業内容及び予算を精査して効果的な事業推進を図った。

<事業項目 2 会員の拡大と自主財源の充実>

1 会員制度の周知と会員拡大、会員サービスの充実

(1) 会員制度の周知と会員拡大

本会ホームページに入会手続きに関する案内を掲載し、新規開設施設に対し情報を提供するとともに、過去に発注・契約の実績のある企業に対しては賛助会員としての加入を働きかけた。その結果、新たに会員となった事業所・企業は 20 ヶ所であった。

〈令和 5 年度新規加入施設〉

一般会員 19 ヶ所(老人福祉施設、障がい者支援事業所等)

賛助会員 1 ヶ所

2 自主財源の充実

(1) 自主企画研修の実施 (再掲)

(2) 図書販売幹旋

(単位：冊)

	全社協出版部				その他出版社	合計
	書籍	手帳	その他	小計		
販売冊数	333	3,535	0	3,783	0	3,783

(3) 秋田県火災共済契約事業の促進 (単位：件)

	契約件数 (継続含む)
火災共済	338
自動車共済	932

(4) 自動車リース化の促進 (単位：台)

	契約台数 (継続含む)
社会福祉協議会	69
社会福祉施設等	153

(5) 家庭用常備薬の斡旋 (単位：円)

	金額
手数料収入	211,362

(6) 事務経費の節減

職員のコスト意識を徹底し、事務機器の再リース契約により費用の圧縮を図ったほか、節電、コピーパフォーマンスチャージの削減に努めた。

<事業項目3 秋田県社会福祉会館の適正な運営>

1 秋田県社会福祉会館の適正な運営及び利用者の拡大

(1) 社会福祉会館及び心身障害者総合福祉センターの利用促進

① 利用者の開拓

企業・団体等への訪問開拓、グーグルストリートビューの活用などにより利用者の開拓・利用促進に努めた。

企業・団体等への訪問開拓件数 993 企業・団体
ダイレクトメールによる PR 件数 64 カ所

② 自主事業の実施

ア 会館フェスティバル

令和 5 年 8 月 3 日(木)～ 6 日(日) 参加者 延べ 600 名

イ 社会福祉会館最新介護機器等展示会

令和 5 年 11 月 19 日 参加事業所 6 事業所 参加者 延べ 28 名

ウ 知的障害者・精神障害者施設作品・加工物等の出店販売

エントランスホール等で定期移動販売の場所及び機会の提供の調整を行った。
年 67 回実施 266 名の施設利用者・職員が参加

エ 特別支援学校生徒等の作品展示

令和 6 年 12 月 9 日(土)～ 2 月 28 日(水)

県立きらり支援学校他特別支援学校等 4 施設、福祉会館近隣保育所 2 施設

オ 秋田県障害者福祉展入賞作品展示

令和 6 年 3 月 8 日(金)～ 3 月 22 日(金)

身体障害者、知的障害者、精神障害者 3 個人の作品展示

カ スポーツ教室等

太極拳 参加者 延べ 320 名

ヨガ&ピラティス 参加者 延べ 342 名

③ 社会福祉会館・心身障害者総合福祉センターの利用状況

ア 会議室・展示ホール利用状況 利用件数 2,834 件

利用人数 55,981 人

イ 心身障害者総合福祉センター利用状況 利用件数 1,270 件

利用人数 13,278 人

ウ 自主事業等その他の利用状況 利用件数 511 件

(太極拳・ヨガピラティス等) 利用人数 5,308 人

エ 開館時からの総計	利用件数	135,832 件
	利用人数	3,226,282 人

(2)利用者に対するサービスの充実

①利用者満足度の把握

ア 御意見箱の設置

窓口での対応の他に、館内4カ所に「御意見箱」を設置し、利用者の苦情・要望・意見などを把握した。また、入居団体総務担当者会議(年2回)を通じて入居団体・障害者団体からの要望の把握も行った。

イ 利用満足度調査の実施

令和5年8月から11月までに窓口で会議室利用100団体にアンケート調査を実施し、窓口対応、設備、清掃状況等について5段階で回答をいただいた結果、満足度(県指定算出方法)が86.2%となった。

※意見・要望抜粋

・駐車スペースが少ない・冷暖房のききが悪い・机・椅子等が壊れている古い等

②館内設備の充実等

①のアの要望を参考に障害者団体から身障センターのトイレの様式化、入居団体からの冷暖房の能力アップを狙った冷温水発生機空調機の更新、AEDの追加等県へ要求し、次年度の大規模修繕の実施・設置へと繋げた。

③社会福社会館老朽化への対応

ア 令和5年度大規模修繕工事の実施状況

福社会館カーテンウォール改修工事

令和5年8月7日(月)から令和6年1月31日(水)まで

イ 令和6年度県有建築物修繕工事の予算要求資料を提出

10件 116,156,126円相当

(令和5年7月14日(金)、秋田地域振興局建築課へ提出)

ウ 社会福社会館設備等の小破修繕の実施

25件 2,420,008円

④利用者ニーズに応える機材の貸出

ア PCプロジェクター 利用回数年117回

イ 100インチスクリーン 利用回数年194回

ウ リモート会議用機材PC 利用回数年598回

(3)社会福社会館の管理・運営

①入居団体総務担当者会議

第1回 期日 令和5年6月23日(金)

参加者 32名

内容 入居団体への協力依頼について

令和5年度大規模修繕工事の実施予定について

令和5年度防災消防総合訓練の実施予定について

その他

- 第2回 期 日 令和5年11月30日(木)
参加者 33名
内 容 入居団体への協力依頼事項について
令和5年度大規模修繕工事の実施状況について
省エネ対策について
その他

②会館管理運営協議会

- 期 日 令和6年3月14日(木)
内 容 令和5年度会館管理運営事業報告について
令和5年度会館管理運営事業決算見込について
利用料収入・利用件数等について
光熱水費の支出状況について
修繕費の支出状況について
令和6年度の大規模修繕要望について

③防災消防総合訓練の実施・防災講話会

- 第1回 期 日 令和5年7月4日(火)
参加者 入居団体109名
内 容 通報・避難訓練(秋田消防署職員による講評)
第2回 期 日 令和6年2月9日(金)
参加者 入居団体23名
内 容 防災講話会
講師 秋田消防署 消防司令補 柴田航氏
演題 「火災予防のポイントについて」

④令和6年度社会福祉会館設備運転保守業務委託に係る指名競合入札の実施

- 期 日 令和6年3月21日(木)
指名業者 秋田市内9事業所

(4)その他

新型コロナウイルス感染症等も収束に向かい、またWi-Fi設備や貸し出し機器等の充実により有料会議室の利用率が上昇し、利用料収入が1,600万円を超えた。(当初予算比約285万円の増収)しかし、昨年夏季7~8月の異常高温に加え、電気・重油使用料金等の値上がりや館内の小破修繕等に係る支出等から単年度収支では約160万円のマイナス決算となった。

推進項目2 職員の資質向上と意識改革

<事業項目1 職員評価の推進>

1 業務目標評価及び能力評価の実施

各シートを使い自己評価や管理職による評価を行うとともに、ヒアリングを通し職員

の業務遂行能力の向上を図った。

<事業項目2 職員の資質向上>

1 研修や人事交流による職員の資質向上

(1) 職員研修の実施

① 内部研修

新任研修

期 日 令和5年4月10日(月)

参加者 11名(新任職員及び受講希望者)

内 容 県社協職員として必要な基本的な心構え及び基礎的知識
社会福祉の歴史と県社協の役割、使命
県社協組織及び各部の事業等

② その他

職種や経験年数等に基づき研修センター主催の各研修に参加した(15名)。

他団体の主催する研修へ参加した(1名)。

(2) 他団体への職員派遣

組織の活性化と職員の資質向上を目的に、職員を派遣した(2団体2名)。

<<その他 災害時における被災地支援>>

1 令和5年7月大雨災害に伴う被災地支援の状況

(1) 市町村社会福祉協議会による災害ボランティアセンターの設置

社協名	設置期間	活動延べ件数	ボランティア延べ人数
秋田市	令和5年7月17日～10月16日	1,193件	6,293人
能代市	令和5年7月18日～7月28日	77件	499人
男鹿市	令和5年7月18日～7月23日	15件	141人
仙北市	令和5年7月19日～7月26日	1件	4人
上小阿仁村	令和5年7月19日～7月23日	9件	50人
五城目町	令和5年7月19日～9月16日	418件	3,539人
計	—	1,713件	10,526人

(2) 市町村社会福祉協議会災害ボランティアセンターへの支援

① 秋田県災害ボランティア支援センターの設置 設置期間：7月17日～10月16日

② 活動状況

・職員派遣

現地ニーズ等の状況確認、情報収集、災害ボランティアセンターの立ち上げ支援及び運営支援

- ・調整、コーディネート

各種問合せ対応、関係機関との連絡調整、全社協との連絡調整、北海道・東北ブロック社協への職員派遣依頼・派遣調整、市町村社協への職員派遣依頼・派遣調整

- ・情報収集・提供

被災状況の把握、ホームページによる災害ボランティアセンター情報等の発信、ボランティア活動に関する情報提供、県及び全社協、北海道・東北ブロック道県社協、被災市町との情報共有

- ・災害ボランティアバスの運行

秋田市及び五城目町災害ボランティアセンターへのボランティアバスの運行

期 日	出発地	活動場所	参加者数
令和5年7月22日(土)	日赤短大	秋田市	12人
令和5年7月23日(日)	日赤短大	秋田市	17人
令和5年8月8日(火)	横手市	秋田市	16人
令和5年8月9日(水)	大館市	五城目町	6人
令和5年8月10日(木)	横手市	秋田市	26人
令和5年8月10日(木)	大館市	五城目町	11人
計	—	—	88人

③職員派遣状況

- ・令和5年7月17日～10月15日（県外社協は9/10、市町村社協は9/29まで）

	秋田市災害VC	五城目町災害VC	計
市町村社協	493人	192人	685人
県外社協	682人	27人	709人
県社協	185人	54人	239人
合計	1,360人	273人	1,633人

2 令和6年能登半島地震に伴う被災地支援の状況

(1) 現地災害ボランティアセンターへの支援

- ・派遣先 石川県志賀町社会福祉協議会
- ・派遣期間 令和6年2月21日～※継続中、1クール6泊7日（実働5日間）
- ・支援内容 災害ボランティアセンター運営支援

クール	派遣日	派遣人数	備考
3	令和6年2月21日	2名	うち秋田市社協1名
6	令和6年3月4日	2名	
9	令和6年3月16日	2名	
12	令和6年3月28日	2名	

(2) 災害派遣福祉チーム（DWA T）による支援

- ・派遣先 石川県金沢市ほか、1.5次避難所、2次避難所

- ・派遣期間 令和6年1月30日～2月10日、1クール5泊6日（実働4日間）
- ・派遣内容 本部（石川県庁内）事務補助、輪島市・七尾市・志賀町避難所におけるニーズ把握、志賀町避難所の運営支援ほか

クール	派遣日	派遣人数	備考
1	令和6年1月30日	3名	うち施設職員2名
2	令和6年2月2日	4名	うち施設職員3名
3	令和6年2月5日※	5名	うち施設職員3名

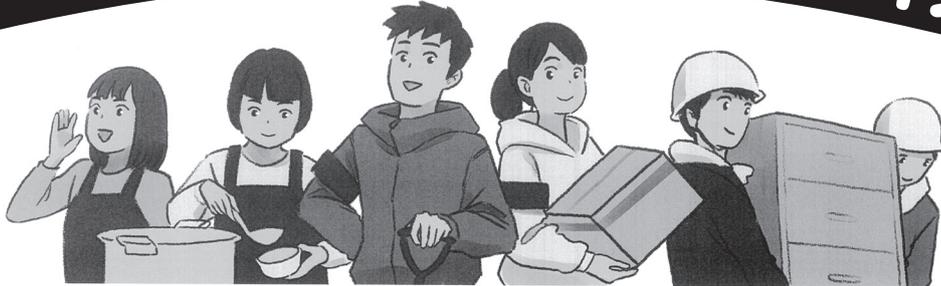
※3 クールの県社協職員1名は2月7日から

(3)生活福祉資金（緊急小口資金）特例貸付への支援

- ・派遣先 石川県珠洲市社会福祉協議会
- ・派遣期間 令和5年1月29日～2月4日、6泊7日（実働5日間）
- ・支援内容 特例貸付の窓口・相談対応
- ・派遣人数 2名

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類感染症に変更されたことに伴い、「特定感染症重点プラン」を廃止して2つのプランとします。

保険金額・年間保険料（1名あたり） 団体割引20%適用済／過去の損害率による割増適用

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円		
	特定感染症	補償開始日から補償(*)		
地震・噴火・津波による死傷	×	○		
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)		
年間保険料		350円	500円	

商品パンフレットは
コチラから



(ふくしの保険
ホームページ)

*特定感染症についても10日間の免責期間がなくなり、補償開始日から補償対象となります。
なお、令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症は補償対象外となりました。

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03(3581)4667

受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)